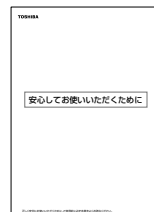
マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

● パソコンをお取り扱いいただくための注意事項
ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

● Windowsのセットアップ
● パソコンの各部名称
● バッテリで使う方法
● 困ったときは
● リカバリ（再セットアップ）など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。
オンラインマニュアルでは、『取扱説明書』をさらに詳しく、次の内容を加えて説明しています。

● パソコンの基本機能
● 通信機能
● 周辺機器の接続
● アプリケーションについて
● システム環境の変更　など

またQ&A集にも、項目を多数加えています。

リリース情報

● 本製品を使用するうえでの注意事項など
必ずお読みください。
本製品の電源を入れた状態で次の操作を行うと表示されます。
[スタート] → [すべてのプログラム] → [はじめに] → [リリース情報] をクリック

もくじ

はじめに

本製品を安全に正しく使うために重要な事項が、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』に記載されています。必ずお読みになり、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるようにお手元に大切に保管してください。

本書は、次の決まりに従って書かれています。

記号の意味

記号	意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（＊1）を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害（＊2）を負うことが想定されるか、または物的損害（＊3）の発生が想定されること”を示します。
お願い	データの消失や、故障、性能低下を起こさないために守ってほしい内容、仕様や機能に関して知っておいてほしい内容を示します。
メモ	知っていると便利な内容を示します。
役立つ操作集	知っていると役に立つ操作を示します。
参照	このマニュアルや他のマニュアルへの参照先を示します。 このマニュアルへの参照の場合 ……………………「　」 他のマニュアルへの参照の場合 ……………………『　』 オンラインマニュアルへの参照の場合 ……………《　》 オンラインマニュアルにはさまざまな情報が記載されています。

＊1　重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
＊3　物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

用語について

本書では、次のように定義します。

システム　特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。本製品のシステムはWindows XPです。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト
アプリケーションソフトウェアを示します。

Windows XP　特に説明がない場合は、Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版またはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版を示します。

MS-IME　Microsoft® IME 2002／ナチュラル インプット2002を示します。

Windows XP Proモデル　Microsoft® Windows® XP Professional operating system 日本語版がプレインストールされているモデルを示します。

Windows XP Homeモデル　Microsoft® Windows® XP Home Edition operating system 日本語版がプレインストールされているモデルを示します。

オンラインマニュアル　パソコン上で見ることのできる、電子マニュアルを示します。デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックして起動します。

ドライブ　DVDスーパーマルチドライブを示します。

参照 詳細について《オンラインマニュアル 3章 4 CDやDVDを使う》

Pentiumモデル　インテル® Pentium® M プロセッサ搭載モデルを示します。

Celeronモデル　インテル® Celeron® M プロセッサ搭載モデルを示します。

記載について

- 記載内容によっては、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「＊＊＊＊モデルのみ」と注記します。
- インターネット接続については、内蔵モデムを使用した接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは同梱の CD ／ DVD からインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、コントロールパネルの操作方法についてカテゴリ表示を前提に記載しています。クラシック表示になっている場合は、カテゴリ表示に切り替えてから操作説明を確認してください。

参照 カテゴリ表示とクラシック表示 『ヘルプとサポート センター』

Trademarks

- Microsoft、Windows、Windows Media、Outlook は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Intel、インテル、Pentium、Celeron は、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。
- MagicGate、メモリースティック、メモリースティックロゴ、メモリースティック Duo、メモリースティック PRO、メモリースティック PRO Duo は、ソニー株式会社の商標です。
- xD- ピクチャーカード™ は、富士写真フイルム株式会社の商標です。
- i.LINK と i.LINK ロゴは商標です。
- Adobe、Adobe Reader は Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国ならびに他の国における商標です。
- goo スティックは、NTT レゾナント株式会社の商標です。

取扱説明書に掲載の商品の名称は、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

プロセッサ（CPU）に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ（CPU）の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- AC アダプタを接続せずバッテリ駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト（例えば、運用に高性能コンピュータが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト）を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
  目安として、標高 1,000 メートル（3,280 フィート）以上をお考えください。
- 目安として、気温 5 ～ 30℃（高所の場合 25℃）の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPU の処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。
また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。
この他の使用制限事項につきましては取扱説明書をお読みください。また、詳細な情報については東芝 PC ダイヤル 0120-97-1048 にお問い合わせください。

著作権について

音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

①［スタート］→［すべてのプログラム］→［はじめに］→［リリース情報］をクリックする

お願い

- 本製品の内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツールまたは本書に記載している手順以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 内蔵ハードディスクにインストールされている、または同梱のCD／DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品に内蔵されている画像を、本製品での壁紙以外の用途に使用することを禁じます。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。パスワードを忘れてしまって、パスワードを解除できなくなった場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有償です。またどちらの場合も身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワード設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。
  セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、弊社は一切の責任を負いません。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする取扱説明書と『エンドユーザ使用許諾契約書』および『ソフトウェアに関する注意事項』をお読みください。
- 一部のアプリケーションでは初回起動時に使用許諾書が表示されます。アプリケーションを使用するには使用許諾書に同意してください。
  使用許諾書に同意すると、2回目以降は使用許諾書の表示はされませんが、再セットアップを行った場合には使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書兼お客様登録カード』は、「東芝保証書」と「お客様登録カード」を中央の切り取り線で切り離せます。「東芝保証書」は記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザ登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。本体同梱の『お客様登録カード』または弊社ホームページで登録できます。

参照 詳細について「7章 1 お客様登録の手続き」

1 章

パソコンの準備 −セットアップ−

この章では、Windows のセットアップ、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備について説明しています。

Windows（ウィンドウズ）を使えるようにする

－ Windows のセットアップ －

初めて電源を入れたときは、Windows のセットアップを行う必要があります。
Windows のセットアップは、パソコンを使えるようにするために必要な操作です。
セットアップには約 10 分かかります。

作業を始める前に、同梱の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードや AC アダプタの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

お願い セットアップをするときの注意

■周辺機器は接続しないでください■

- セットアップは AC アダプタと電源コードのみを接続して行います。
  セットアップが完了するまでは、プリンタ、マウスなどの周辺機器や LAN ケーブルは接続しないでください。

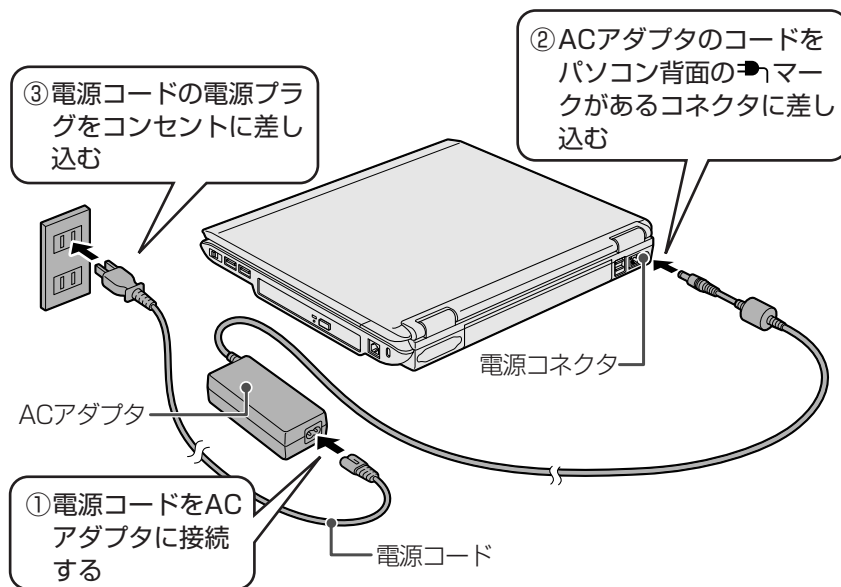
■途中で電源を切らないでください■

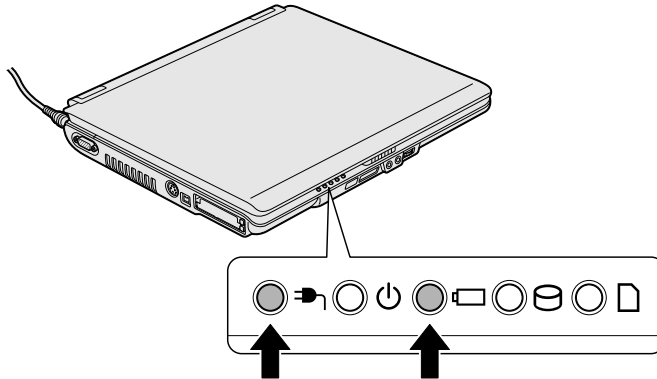
- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり修理が必要となることがあります。

■操作は時間をあけないでください■

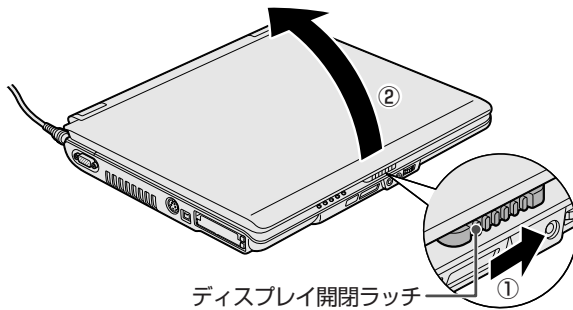
- セットアップ中にキー操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
  30 分以上タッチパッドやキーを操作しなかった場合、画面に表示される内容が見えなくなる場合がありますが、故障ではありません。
  もう 1 度表示するには、Shift キーを押すか、タッチパッドをさわってください。

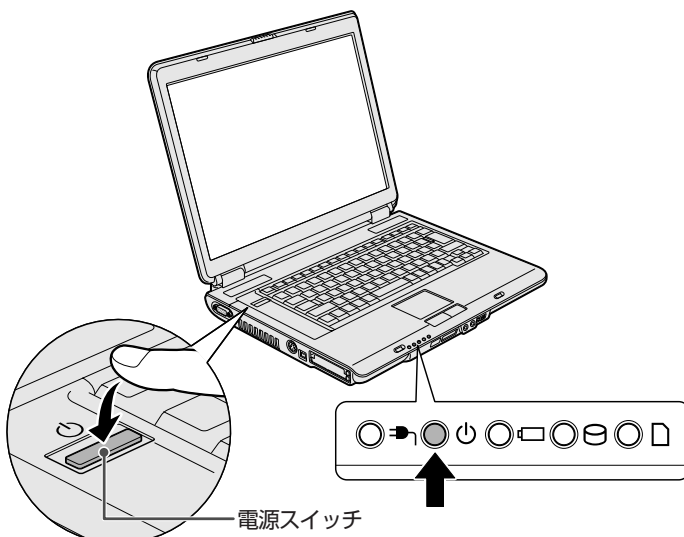
① 電源コードと AC アダプタを接続する

次の図の①→②→③の順で行ってください。

接続すると

DC IN LEDが青色に点灯します。また、Battery LEDがオレンジ色に点灯し、バッテリへの充電が自動的に始まります。

② 電源を入れる

1 パソコン本体正面のディスプレイ開閉ラッチをスライドし①、ディスプレイを開ける②

ディスプレイを開閉するときは、傷や汚れがつくのを防ぐために、液晶ディスプレイ部分には触れないようにしてください。
片手でパームレスト（キーボードの手前部分）をおさえた状態で、ゆっくり起こしてください。

2 電源スイッチを約2秒間押し、指を離す

指を離すと電源が入ります。

③ Windowsのセットアップ

次の手順に従ってセットアップを行ってください。
パソコンが起動したら、[Microsoft Windowsへようこそ]画面が表示され、音楽が流れます。

音量は本体前面にあるボリュームダイヤルで調節できます。

参照 ボリュームダイヤルについて「2章 1-① 前面図」
音量の調節について《オンラインマニュアル 3章 6 サウンド機能》

1 [次へ]ボタンをクリックする

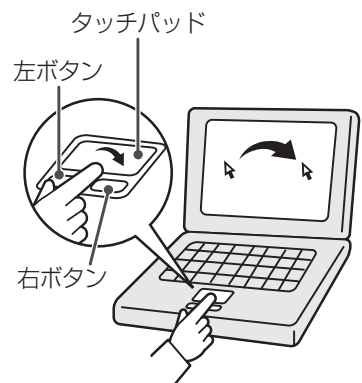
画面右下の ? ボタンをクリックするか(F1)キーを押すと、Windowsセットアップのヘルプが表示されます。

[使用許諾契約]画面が表示されます。

役立つ操作集

クリックとは？

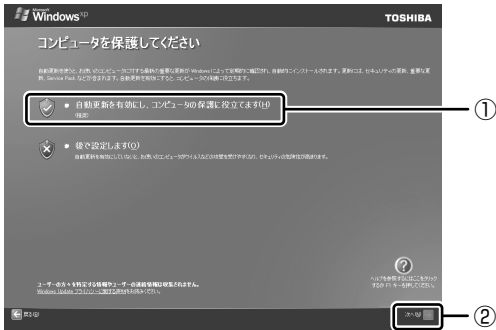
タッチパッドに指をおいて、上下左右に動かすと、指の動きにあわせてディスプレイ上の「 」(ポインタ)が動きます。
目的の位置にポインタをあわせたあと、左ボタンを1回押す操作を「クリック」といいます。

参照 詳しい使いかた《オンラインマニュアル 3章 3ポインタを動かす/ファイルを開く》

2 [使用許諾契約]の内容を確認して[同意します]の左にある○をクリックし①、[次へ]ボタンをクリックする②

(表示例)

契約に同意しなければ、セットアップを続行することはできず、Windowsを使用することはできません。
▼ ボタンをクリックすると契約書の続きを表示できます。

[コンピュータを保護してください]画面が表示されます。

3 ［自動更新を有効にし、コンピュータの保護に役立てます］の左にある○をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

［コンピュータに名前を付けてください］画面が表示されます。

4 ［このコンピュータの名前］にコンピュータ名を入力し①、［次へ］ボタンをクリックする②

半角英数字で任意の文字列を入力してください。このとき、同じネットワークに接続するコンピュータとは別の名前にしてください。
企業で本製品を使用する場合は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。
Windows XP Homeモデルの場合は、［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。手順8へ進んでください。
Windows XP Proモデルの場合は、［管理者パスワードを設定してください］画面が表示されます。

5 ［管理者パスワード］と［パスワードの確認入力］にパスワードを入力する

Administratorと呼ばれる管理者のユーザアカウントのパスワードを設定します。管理者のユーザアカウントでは、コンピュータにフルアクセスできます。
パスワードには、半角の英数文字および記号を使用することができます。パスワードは大文字と小文字が区別されますので注意してください。例えば「PASSWORD」と「password」は別のパスワードとして識別されます。

参照 入力に使うキーの位置について 《オンラインマニュアル 3章 2 キーボード》

［管理者パスワード］欄での入力後、Tabキーを押すと「｜」が［パスワードの確認入力］欄に移動します。「｜」はカーソルといい、表示されている位置から文字などを入力できます。

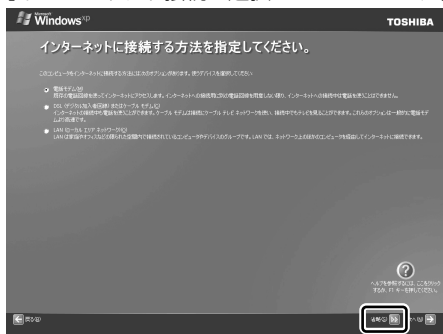
6 ［次へ］ボタンをクリックする

［このコンピュータをドメインに参加させますか？］画面が表示されます。
ドメインの設定は、セットアップ完了後に行えますので、ここでは省略した場合について説明します。

7 ［いいえ、このコンピュータをドメインのメンバにしません］の左にある○をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

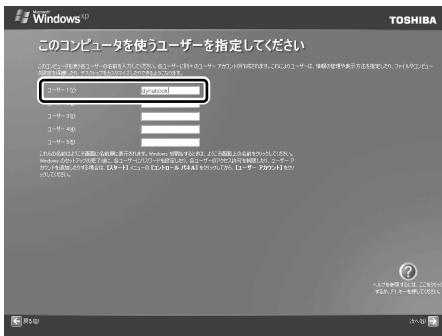
［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面が表示されます。［インターネットに接続する方法を指定してください。］画面ではなく［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示されることもあります。
画面が表示される前に、［インターネット接続を確認しています］画面が表示されることがあります。そのまま次の画面が表示されるのをお待ちください。
インターネット接続の設定は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

8 ［省略］ボタンをクリックする

［インターネット接続が選択されませんでした］画面が表示された場合も、［省略］ボタンをクリックしてください。

［Microsoft にユーザー登録する準備はできましたか？］画面が表示されます。
マイクロソフト社へのユーザ登録は、市販の Windows XP を購入された場合のみ必要ですので、ここでは省略した場合について説明します。

9［いいえ、今回はユーザー登録しません］の左にある○をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

［このコンピュータを使うユーザーを指定してください］画面が表示されます。

10［ユーザー 1］欄に使う人の名前を入力する

［ユーザー 1］欄にポインタをあわせてクリックすると、「｜」（カーソル）が点滅します。

参照　入力に使うキーの位置について《オンラインマニュアル 3 章 2 キーボード》

Windows XP では複数のユーザを設定し、それぞれのユーザごとに別々の環境を構築できますが、ここでは 1 人の名前だけ入力した場合について説明します。

メモ　ローマ字入力で入力する場合

- 半角英数字で「dynabook」と入力したいときは、はじめにキーボードの（半／全）キーを押して、日本語入力システム Microsoft IMEの日本語入力モードをオフにしてから、（D）（Y）（N）（A）（B）（O）（O）（K）と押します。
  キーを押しても文字が表示されない場合は、［ユーザー］欄に「｜」（カーソル）が表示され点滅していることを確認してください。表示されていないときは、［ユーザー］欄をクリックしてください。
  文字の入力を間違えたら、（BackSpace）キーを押して入力ミスした文字を削除します。

11［次へ］ボタンをクリックする

［設定が完了しました］画面が表示されます。

12［完了］ボタンをクリックする

（表示例）

Windows のセットアップが終了するとパソコンが自動的に再起動します。

1章　パソコンの準備 ―セットアップ―

日付と時刻の設定

購入後初めてセットアップを終えたあとは、次の手順で日付と時刻をあわせます。

①[スタート]ボタンをクリックし、表示されたメニューから[コントロールパネル]をクリックする
②[日付、時刻、地域と言語のオプション]をクリックする
③[日付と時刻]をクリックする
[日付と時刻のプロパティ]画面が表示されます。

④[日付]欄の または をクリックして年号をあわせる
⑤[日付]欄の をクリックして月をあわせる
⑥[日付]欄のカレンダーで日をクリックする
⑦[時刻]欄の または をクリックして時刻をあわせる
変更する時/分/秒をクリックしてから、 または をクリックします。
⑧[OK]ボタンをクリックする

時刻は、画面右下の[通知領域]に表示されています。日付は、時刻表示部分にポインタをあわせるとしばらくして表示されます。正しく設定されているかどうか確認してください。

2 電源を切る方法と入れる方法

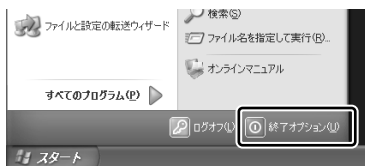
① 電源を切る

パソコンの電源を切るときは、まず Windows を終了し、そのあとパソコン本体の電源を切ります。
電源を切る手順を覚えましょう。
間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失うおそれがあります。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- Disk LED、ブリッジメディア LED、ディスクトレイ LED が点灯中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

1 ［スタート］ボタンをクリックする

2 ［終了オプション］をクリックする

［コンピュータの電源を切る］画面が表示されます。

3 ［電源を切る］をクリックする

ドメイン参加している場合は、［Windows のシャットダウン］画面で ボタンをクリックし①、［シャットダウン］を選択し②、［OK］ボタンをクリックしてください。

参照 ドメインについて 《オンラインマニュアル 1 章 4-2 ドメインに接続する》

Windows を終了したあと、パソコン本体の電源が自動的に切れます。
パソコン本体の電源が切れると、Power LED が消灯します。

お願い 電源を切ったあとは

- パソコン本体に接続している機器（周辺機器）の電源は、パソコン本体の電源を切ったあとに切ってください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。強く閉じると衝撃でパソコン本体が故障する場合があります。
- パソコン本体や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。

スタンバイ、休止状態については、《オンラインマニュアル 1章 3 パソコンの使用を中断する／電源を切る》を参照してください。

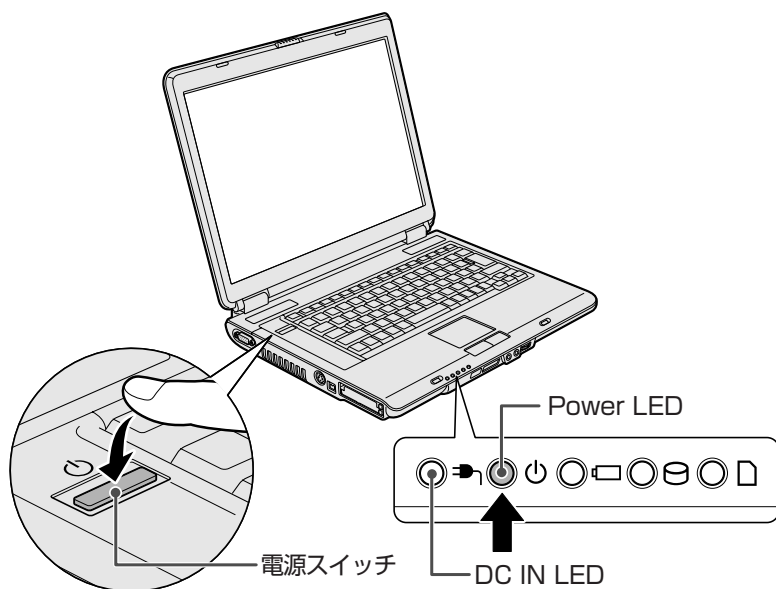
② 電源を入れる

Windows セットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

お願い 電源を入れる前に

- 各スロットにメディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンタなどの周辺機器を接続している場合は、パソコン本体より先に周辺機器の電源を入れてください。

1 電源スイッチを約2秒間押し、指を離す

指を離すと電源が入ります。

Windows が起動し、デスクトップ画面が表示されます。

電源に関する表示

電源の状態はシステムインジケータの点灯状態で確認することができます。
電源に関係あるインジケータとそれぞれの意味は次のとおりです。

	状態	パソコン本体の状態
DC IN LED	青の点灯	AC アダプタを接続している
	オレンジの点滅	異常警告（AC アダプタ、バッテリまたはパソコン本体の異常）*
	消灯	AC アダプタを接続していない
Power LED	青の点灯	電源 ON
	オレンジの点滅	スタンバイ中
	消灯	電源 OFF、休止状態

＊ 電源に関するトラブルについては、「5 章 2 Q&A 集」を参照してください。

【 ユーザパスワードを設定している場合 】
ユーザパスワードを設定している場合は、電源を入れると次のメッセージが表示されます。

```
Password =
```

設定したユーザパスワードを入力し、Enterキーを押してください。

参照 パスワードについて 《オンラインマニュアル 8 章 4 パスワードセキュリティ》

【 メッセージが表示される場合 】
不明なメッセージについては、「5 章 2 Q&A 集 メッセージ」をご覧ください。

オンラインマニュアルについて

Windows が起動しているときにパソコンの画面上で見るマニュアルです。
オンラインマニュアルでは、『取扱説明書』をさらに詳しく、次の内容を加えて説明しています。

- パソコンの基本機能
- 通信機能
- 周辺機器の接続
- アプリケーションについて
- システム環境の変更　　　　など

また Q&A 集にも、項目を多数加えています。

次のように操作すると、「Adobe Reader」が起動し、「オンラインマニュアル」が表示されます。

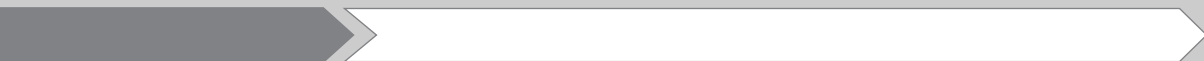
1 デスクトップ上の［オンラインマニュアル］アイコンをダブルクリックする

［スタート］→［すべてのプログラム］→［オンラインマニュアル］をクリックしても起動できます。

初めて「Adobe Reader」を起動したときは、［使用許諾契約書］画面が表示されます。契約内容をお読みのうえ、［同意する］ボタンをクリックしてください。［同意する］ボタンをクリックしないと、「Adobe Reader」をご使用になれません。また、「オンラインマニュアル」を見ることはできません。

2章

パソコン本体の機能

このパソコン本体の各部についての役割や、メモリの増設などを説明しています。

各部の名称

－ 外観図 －

ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれについての詳しい説明は、各参照ページやオンラインマニュアルを確認してください。

メモ

- 本製品に表示されている、コネクタ、LED、スイッチのマーク（アイコン）、およびキーボード上のマーク（アイコン）は最大構成を想定した設計となっています。ご購入いただいたモデルによっては、機能のないものがあります。

① 前面図

ディスプレイ開閉ラッチ

ディスプレイ＊1
表示装置です。

電源スイッチ

スピーカ

RGBコネクタ＊3
外部ディスプレイと接続して、パソコンの映像を外部ディスプレイに表示します。

通風孔
パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさがないでください。

S-Video出力コネクタ＊3
S端子ケーブルを接続して、パソコンの映像をテレビに表示します。

i.LINK (IEEE1394) コネクタ＊3
ビデオカメラなど、i.LINK(IEEE1394)対応機器を接続します。

ExpressCardスロット＊3（上段）
ExpressCardをセットします。

PCカードスロット＊3（下段）
PC カードをセットします。

スピーカ

キーボード＊1

タッチパッド＊1
パッドの上を指でなぞって、パソコンを操作します。

左ボタン＊1
項目を選択します。

右ボタン＊1
メニューを表示します。

ボリュームダイヤル＊1
音量を調整します。

ヘッドホン出力端子＊3
ヘッドホンを接続します。

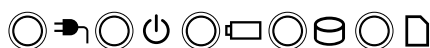
マイク入力端子＊3
マイクロホンを接続します。

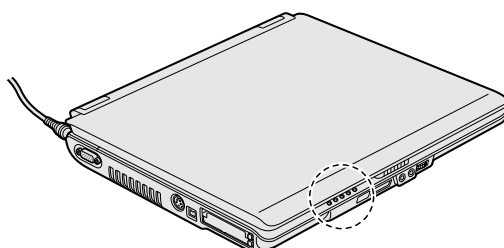
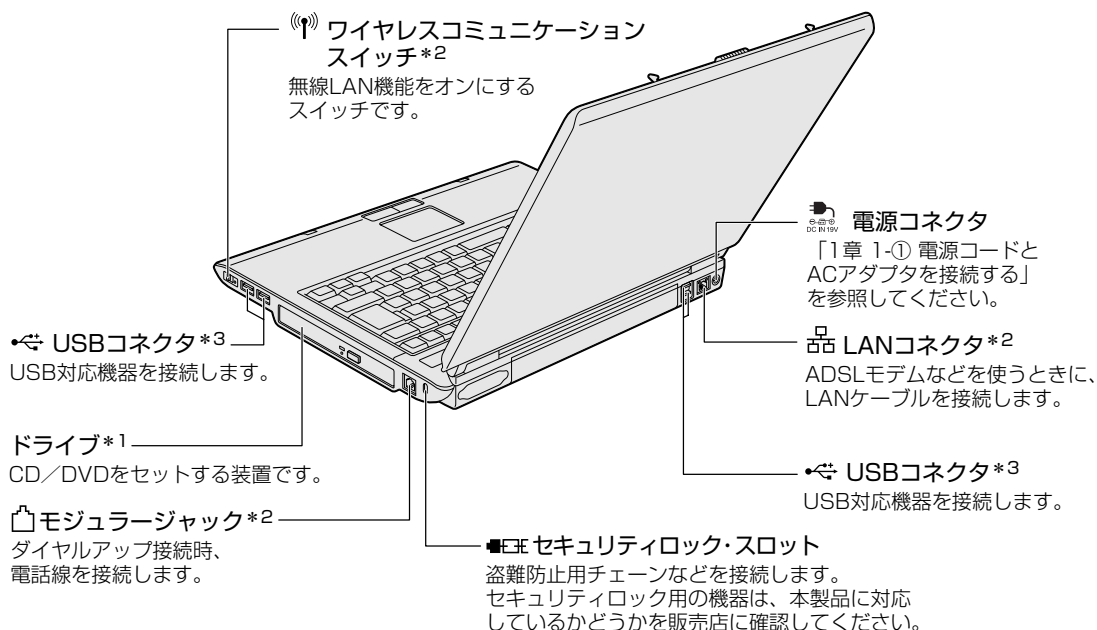
ブリッジメディアスロット＊1
SDカード、メモリースティック、マルチメディアカード、xD-ピクチャーカードなどをセットします。

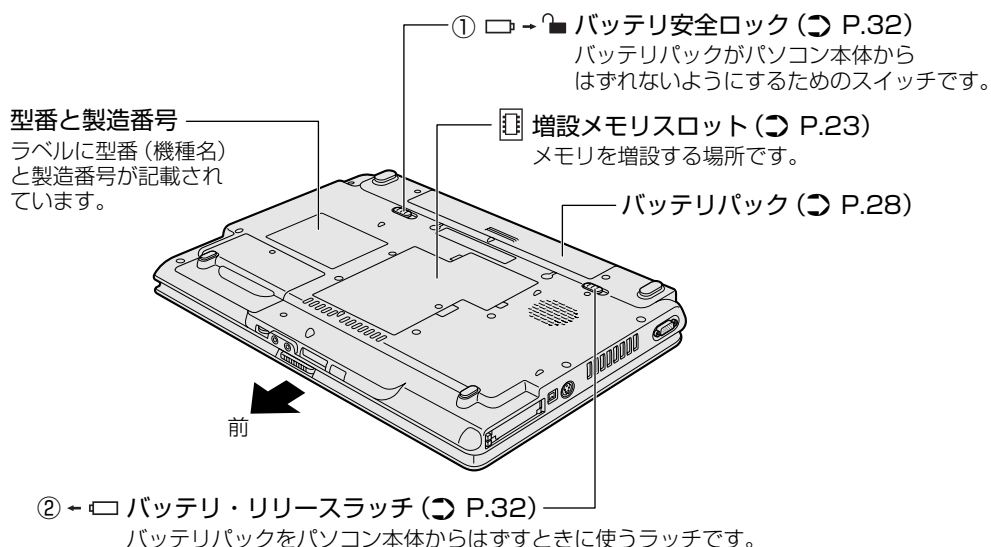
システムインジケータ
次頁の説明を参照してください。

＊１《オンラインマニュアル ３章》を参照してください。
＊２《オンラインマニュアル ４章》を参照してください。
＊３《オンラインマニュアル ５章》を参照してください。

1 システムインジケータ

システムインジケータの点灯状態によって、パソコン本体がどのような動作をしているのかを知ることができます。

	DC IN LED	電源コード接続の状態 参照 「1 章 2-②- 電源に関する表示」
	Power LED	電源の状態 参照 「1 章 2-②- 電源に関する表示」
	Battery LED	バッテリの状態 参照 P.29
	Disk LED	ハードディスクドライブにアクセスしている
	ブリッジメディア LED	ブリッジメディアスロットにアクセスしている 参照 《オンラインマニュアル 3 章 7-⑤- ブリッジメディアスロットに関する表示》

ディスプレイを閉じたとき
各 LED は、ディスプレイを閉じた状態でも確認することができます。

② 背面図

＊1 《オンラインマニュアル 3 章》を参照してください。
＊2 《オンラインマニュアル 4 章》を参照してください。
＊3 《オンラインマニュアル 5 章》を参照してください。

③ 裏面図

通風孔は、パソコン本体内部の熱を外部に逃がすためのものです。ふさがないでください。

⚠ 警 告

- **必ず、本製品付属の AC アダプタを使用すること**
  本製品付属以外の AC アダプタを使用すると電圧や（+）（−）の極性が異なっていることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **パソコン本体に AC アダプタを接続する場合、必ず「1 章 1 Windows を使えるようにする」に記載してある順番を守って接続すること**
  順番を守らないと、AC アダプタの DC 出力プラグが帯電し、感電または軽いケガをする場合があります。また、AC アダプタのプラグをパソコン本体の電源コネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注 意

- **お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くこと**
  電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

お願い

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

【 電源コードの仕様 】
本製品に同梱されている電源コードは、日本の規格にのみ準拠しています。
使用できる電圧（AC）は、100V です。
必ず AC100V のコンセントで使用してください。

＊ 取得規格は、電気用品安全法です。

その他の地域で使用する場合は、当該国・地域の法令・安全規格に適合した電源コードを購入してください。

【 AC アダプタの仕様 】
入力：AC100 〜 240V、〜 1.5A、50-60Hz
出力：DC19V 3.42A

パソコンの動作をスムーズにする

－ メモリの増設 －

ハードディスクの大きさがデータの保存容量を決めるのに対し、メモリ容量はハードディスクからデータを取り出し、作業するエリアの大きさに影響します。画像編集など、一度に大きなデータを扱う作業を行う場合は、メモリ容量が大きいほうがスムーズに作業を行うことができます。メモリを増設して、快適なパソコンにしましょう。
増設メモリスロットに増設メモリを取り付けることができます。
本製品にはPC2-4200対応、DDR2 SDRAM仕様の2つの増設メモリスロット（スロットAとスロットB）があります。メモリが取り付けられていないスロットに別売りの増設メモリを取り付けたり、取り付けられているメモリを別売りの増設メモリと付け換えることができます。
増設メモリは、容量によって次の3タイプがあります。

1GB　：PAME1003
512MB：PAME5123
256MB：PAME2563

取り付けることのできるメモリの容量は、2つのスロットを合わせて、最大2GBまでです。
別売りの増設メモリ1GB（タイプ1）：PAME1003をスロットAに取り付けるときは、あらかじめ取り付けられているメモリを取りはずしてください。

⚠警 告

- **本文中で説明されている部分以外は絶対に分解しないこと**
  内部には高電圧部分が数多くあり、万一触ると、感電ややけどのおそれがあります。

⚠注 意

- **ステープル、クリップなどの金属や、コーヒーなどの液体を機器内部に入れないこと**
  火災、感電の原因となります。万一、機器内部に入った場合は、バッテリを取りはずし、電源を入れずに、お買い求めの販売店、またはお近くの保守サービスに点検を依頼してください。
- **増設メモリの取り付け／取りはずしは、必ず電源を切り、ACアダプタのプラグを抜き、バッテリパックを取りはずしてから作業を行うこと**
  電源を入れたまま取り付け／取りはずしを行うと感電、故障のおそれがあります。
- **電源を切った直後に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないこと**
  内部が高温になっており、やけどのおそれがあります。電源を切った後30分以上たってから行ってください。

お願い　操作にあたって

- パソコン本体やメモリのコネクタに触らないでください。コネクタにゴミや油が付着すると、メモリが正常に使用できなくなります。
- 増設メモリを強く押したり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 増設メモリは、コネクタに差し込む部分ではなく両端（切れ込みがある方）を持つようにしてください。
- スタンバイ／休止状態中に増設メモリの取り付け／取りはずしを行わないでください。スタンバイ／休止状態が無効になります。また、保存されていないデータは消失します。
- ネジをゆるめる際は、ネジの種類に合ったドライバを使用してください。
- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

増設メモリは、東芝製オプションを使用してください。それ以外のメモリを増設すると、起動しなくなったり、動作が不安定になる場合があります。

お願い 静電気について

- 増設メモリは、精密な電子部品のため静電気によって致命的損傷を受けることがあります。人間の体はわずかながら静電気を帯びていますので、増設メモリを取り付ける前に静電気を逃がしてから作業を行ってください。手近にある金属製のものに軽く指を触れるだけで、静電気を防ぐことができます。

1 メモリを増設する

あらかじめ取り付けられているメモリを交換したい場合は、先にメモリの取りはずしを行ってください。

参照 「本節２メモリを取りはずす」

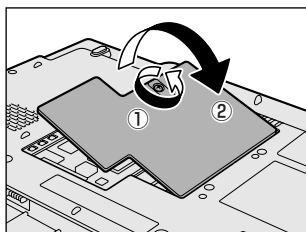
1 データを保存し、Windows を終了させて電源を切る

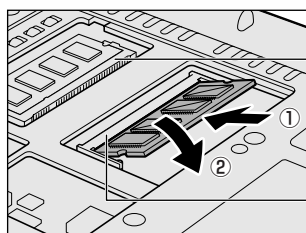
参照 電源の切りかた 「1 章 2 電源を切る方法と入れる方法」

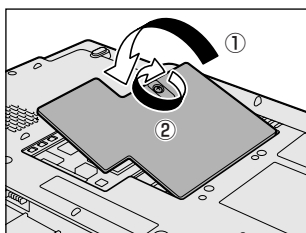
2 パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリパックを取りはずす

参照 バッテリパックの取りはずし 「3 章 1-③ バッテリパックを交換する」

4 増設メモリカバーのネジ 1 本をゆるめ①、カバーをはずす②

増設メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

5 増設メモリを増設メモリスロットのコネクタに斜めに挿入し①、固定するまで増設メモリを倒す②

増設メモリの切れ込みを、増設メモリスロットのコネクタのツメに合わせて、しっかり差し込みます。フックがかかりにくいときは、ペン先などで広げてください。
このとき、増設メモリの両端（切れ込みが入っている部分）を持って差し込むようにしてください。

6 増設メモリカバーをつけて①、手順 4 でゆるめたネジ 1 本をとめる②

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 バッテリパックを取り付ける

参照 バッテリパックの取り付け 「3 章 1-③ バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

参照 メモリ容量の確認について 「本節 3 メモリ容量を確認する」

2 メモリを取りはずす

1 **データを保存し、Windows を終了させて電源を切る**

参照 電源の切りかた 「1 章 2 電源を切る方法と入れる方法」

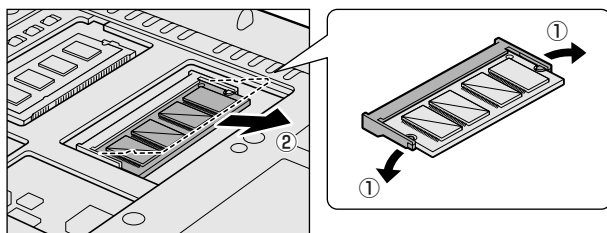
2 **パソコン本体に接続されている AC アダプタとケーブル類をはずす**

3 **ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返し、バッテリパックを取りはずす**

参照 バッテリパックの取りはずし 「3 章 1-③ バッテリパックを交換する」

4 **増設メモリカバーのネジ 1 本をゆるめ、カバーをはずす**

増設メモリスロットの内部に異物が入らないようにしてください。

5 **増設メモリを固定している左右のフックをペン先などで開き①、増設メモリをパソコン本体から取りはずす②**

斜めに持ち上がった増設メモリを引き抜きます。

6 **増設メモリカバーをつけて、手順 4 でゆるめたネジ 1 本をとめる**

増設メモリカバーが浮いていないことを確認してください。

7 **バッテリパックを取り付ける**

参照 バッテリパックの取り付け 「3 章 1-③ バッテリパックを交換する」

パソコン本体の電源を入れると総メモリ容量が自動的に認識されます。総メモリ容量が正しいか確認してください。

3 メモリ容量を確認する

メモリ容量は「システム情報」で確認することができます。

【 確認方法 】
①［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システムツール］→［システム情報］をクリックする
②［システムの概要］で［合計物理メモリ］の数値を確認する

3章

バッテリ駆動で使う

パソコンをモバイル使用する際に大事な存在であるバッテリは、使いかたによっては長持ちさせることができます。
ここでは、充電や充電量の確認など、バッテリを使用するにあたっての取り扱い方法や各設定について説明しています。

1 バッテリについて

パソコン本体には、バッテリパックが取り付けられています。バッテリを充電して、バッテリ駆動（AC アダプタを接続しない状態）で使うことができます。
本製品を初めて使用するときは、バッテリパックを充電してから使用してください。
バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめ AC アダプタを接続してバッテリパックの充電を完了（フル充電）させるか、フル充電したバッテリパックを取り付けてください。

『安心してお使いいただくために』に、バッテリパックを使用するときの重要事項が記述されています。バッテリ駆動で使う場合は、あらかじめその記述をよく読み、必ず指示を守ってください。

⚠危 険

- **バッテリパックは、必ず本製品に付属の製品を使用すること**
  寿命などで交換する場合は、東芝製バッテリ（TOSHIBA バッテリパック：PABAS067）をお買い求めください。
  指定以外の製品は、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため火災・破裂・発熱のおそれがあります。
- **バッテリパックを分解・改造しないこと**
  分解・改造すると、火災・破裂・発熱の原因となります。指定以外の製品や、分解・改造したものは、安全性や製品に関する保証はできません。

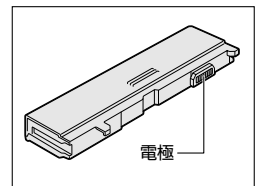
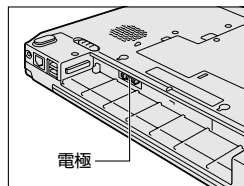
⚠警 告

- **別売りのバッテリパックをお買い上げ後、初めて使用する場合にサビ、異臭、発熱などの異常があると思われるときは使用しないこと**
  お買い求めの販売店または、お近くの保守サービスに点検を依頼してください。

⚠注 意

- **バッテリパックの充電温度範囲内（5 ～ 35℃）で充電すること**
  充電温度範囲内で充電しないと、液もれや発熱、性能や寿命が低下するおそれがあります。

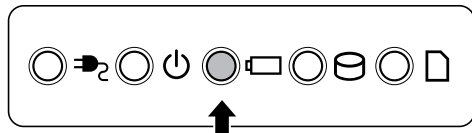
お願い

- バッテリパックの取り付け／取りはずしをする場合は、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。スタンバイを実行している場合は、バッテリパックの取りはずしをしないでください。データが消失します。
- 電極に手を触れないでください。故障の原因になります。

- バッテリ駆動で使用しているときは、バッテリの残量に十分注意してください。
  バッテリを使いきってしまうと、スタンバイが効かなくなり、電源が切れて、メモリに記憶されていた内容はすべて消えます。また、時計用バッテリを使いきってしまうと、時刻や日付に誤差が生じます。このような場合は、AC アダプタを接続してバッテリと時計用バッテリを充電してください。

① バッテリ充電量を確認する

バッテリ駆動で使う場合、バッテリの充電量が減って作業を中断したりしないよう、バッテリの充電量を確認しておく必要があります。

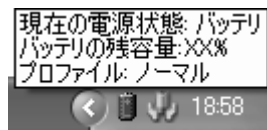
1 Battery LED で確認する

AC アダプタを使用している場合、Battery LED が点灯します。

Battery LED は次の状態を示しています。

青	充電完了
オレンジ	充電中
オレンジの点滅	充電が必要 参照 バッテリの充電について 「本節 ② バッテリを充電する」
消灯	・バッテリが接続されていない ・AC アダプタが接続されていない ・バッテリ異常 異常の場合は、購入店または近くの保守サービスに連絡してください。

2 通知領域の［省電力］アイコンで確認する

通知領域の［省電力］アイコン（ ）の上にポインタを置くと、バッテリ充電量が表示されます。
このときバッテリ充電量以外にも、現在使用しているプロファイル名や、使用している電源の種類が表示されます。

現在の電源状態: バッテリ
バッテリの残容量:XX%
プロファイル: ノーマル
18:58

参照 省電力設定について 《オンラインマニュアル 6 章 2 省電力の設定をする》

1ヵ月以上の長期にわたり、AC アダプタを接続したままパソコンを使用してバッテリ駆動を行わないと、バッテリ充電量が少しずつ減少します。このような状態でバッテリ充電量が減少したときは、Battery LED や［省電力］アイコンで充電量の減少が表示されないことがあります。1ヵ月に 1 度は再充電することを推奨します。

参照 再充電について 「本節 ②-2 バッテリを長持ちさせるには」

3 バッテリ充電量が減少したとき

電源が入っている状態でバッテリの充電量が少なくなると、次のように警告します。

- Battery LED がオレンジ色に点滅する（バッテリの残量が少ないことを示しています）
- バッテリのアラームが動作する
  「東芝省電力」の［アクション設定］タブの［アラーム設定］で設定すると、バッテリの残量が少なくなったことを通知したり、自動的に対処する動作を行います。

上記のような警告が起こった場合はただちに次のいずれかの方法で対処してください。

①パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
②電源を切ってから、フル充電のバッテリパックと取り換える

購入時は休止状態が設定されています。バッテリ減少の警告が起こっても何も対処しなかった場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。

長時間使用しないでバッテリが自然に放電しきってしまったときは、警告音も鳴らず、Battery LED でも放電しきったことを知ることはできません。長時間使用しなかったときは、充電してから使用してください。

時計用バッテリ

本製品には、取りはずしができるバッテリパックの他に、内蔵時計を動かすための時計用バッテリが内蔵されています。
時計用バッテリの充電は、ACアダプタを接続し電源を入れているとき（電源ON時）に行われますので、普通に使用しているときは、あまり意識する必要はありません。ただし、あまり充電されていない場合、時計が止まったり、遅れたりすることがあります。
時計用バッテリが切れていると、時間の再設定をうながすWarning（警告）メッセージが出ます。

【 充電完了までの時間 】

状態	時計用バッテリ
電源ON（Power ⏻ LEDが青色に点灯）	24時間

実際には充電完了まで待たなくても使用できます。また、充電状態を知ることはできません。

② バッテリを充電する

充電方法とフル充電になるまでの充電時間について説明します。

お願い 操作にあたって

- バッテリパックの温度が極端に高いまたは低いと、正常に充電されないことがあります。バッテリは5～35℃の室温で充電してください。

1 充電方法

1 パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードのプラグをコンセントに差し込む

DC IN LEDが青色に点灯してBattery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。
電源コードのプラグをコンセントに差し込むと、電源のON／OFFにかかわらずフル充電になるまで充電されます。

2 Battery LEDが青色になるまで充電する

バッテリの充電中はBattery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN LEDが消灯している場合は、電源が供給されていません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

- パソコン本体を長時間ご使用にならないときは、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。

【 充電完了までの時間 】
バッテリパックは消耗品です。バッテリ充電時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
周囲の温度が低いとき、バッテリパックの温度が高くなっているとき、周辺機器を取り付けている場合は、この時間よりも長くかかることがあります。

状態	電源ON	電源OFF
バッテリパック	約12.0時間	約4.0時間

【 使用できる時間 】
バッテリパックは消耗品です。バッテリ駆動での使用時間は、パソコン本体の機器構成や動作状況、また使用環境によって異なります。
詳細は、別紙の『dynabook Satellite AW4シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

【 バッテリ駆動時の処理速度 】
高度な処理を要するソフトウェア（3Dグラフィックス使用など）を使用する場合は、充分な性能を発揮するためにACアダプタを接続してご使用ください。

2 バッテリを長持ちさせるには

- ACアダプタをコンセントに接続したままでパソコンを８時間以上使用しない場合は、バッテリを長持ちさせるためにもACアダプタをコンセントからはずしてください。
- １ヵ月以上の長期間バッテリを使わない場合は、パソコン本体からバッテリパックをはずして、風通しの良い涼しい場所に保管してください。
- １ヵ月に１度は、ACアダプタをはずしてバッテリ駆動でパソコンを使用してください。
  その際には、パソコンを使用する前に次の方法で再充電してください。

1 **パソコン本体の電源を切る**

2 **パソコン本体からACアダプタをはずし、パソコンの電源を入れる**

電源が入らない場合は手順４へ進んでください。

3 **５分程度バッテリ駆動を行う**

この間、Battery LEDが点滅するか、充電量が少なくなったなどの警告が表示された場合は、すぐにACアダプタを接続し、手順４へ進みます。

4 **パソコン本体にACアダプタを接続し、電源コードをコンセントにつなぐ**

DC IN LEDが青色に点灯してBattery LEDがオレンジ色に点灯すると、充電が開始されます。

5 **Battery LEDが青色になるまで充電する**

バッテリの充電中はBattery LEDがオレンジ色に点灯します。
DC IN LEDが消灯している場合は、通電していません。ACアダプタ、電源コードの接続を確認してください。

【バッテリを節約する】
バッテリを節約して、本製品をバッテリ駆動で長時間使用するには、次の方法があります。

- こまめに休止状態にする

参照 《オンラインマニュアル１章 3-② 休止状態》

- 入力しないときは、ディスプレイを閉じておく

参照 《オンラインマニュアル１章 3-③ 簡単に電源を切る／パソコンの使用を中断する》

- 省電力のプロファイルを設定する

参照 《オンラインマニュアル６章 2 省電力の設定をする》

③ バッテリパックを交換する

バッテリパックの交換方法を説明します。
バッテリパックの取り付け／取りはずしのときには、必ず電源を切り、電源コードのプラグを抜いてから作業を行ってください。

メモ

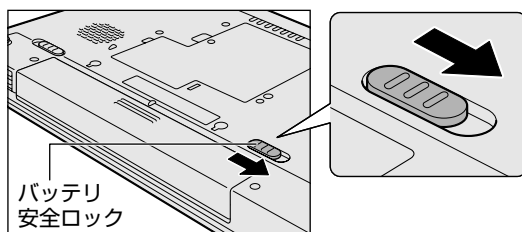
- キズや破損を防ぐため、布などを敷いた安定した台の上にパソコン本体を置いて作業を行ってください。

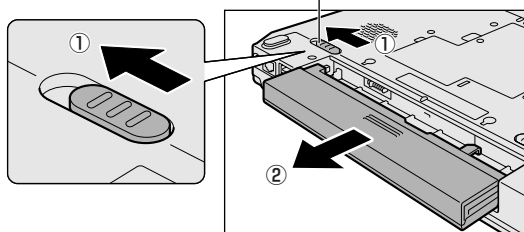
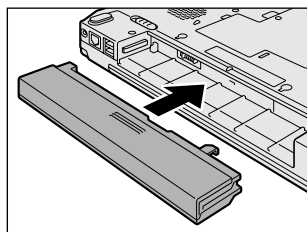
1 取りはずし／取り付け

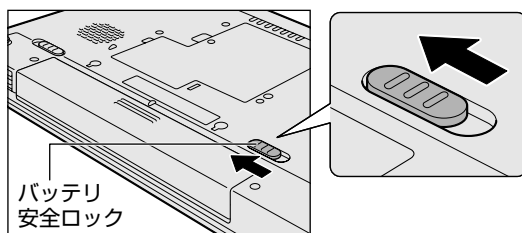
1 データを保存し、Windowsを終了させて電源を切る

2 パソコン本体からACアダプタと周辺機器のケーブル類をはずす

3 ディスプレイを閉じてパソコン本体を裏返す

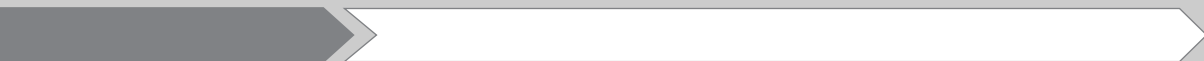
4 バッテリ安全ロックを矢印の方向に引く

バッテリ・リリースラッチがスライドできるようになります。

5 バッテリ・リリースラッチをスライドしながら①、バッテリパックを取りはずす②

6 交換するバッテリパックを、「カチッ」と音がするまで静かに差し込む

新しいあるいは充電したバッテリパックを、バッテリ・リリースラッチが自動的にスライドして、「カチッ」という音がするまで注意して差し込んでください。

7 バッテリ安全ロックを矢印の方向にスライドする

バッテリパックがはずれないように、バッテリ安全ロックは必ず行ってください。

4章

システム環境の変更

本製品を使用するときの、システム上のさまざまな環境を設定する BIOS セットアップについて説明しています。

BIOSセットアップを使う

BIOS（バイオス）セットアップとは、パソコンのシステム構成をパソコン本体から設定するプログラムのことです。
次のような設定ができます。

- ハードウェア環境
  （パソコン本体、周辺機器接続ポート）の設定
- セキュリティの設定
- 起動方法の設定
- 省電力の設定

メモ BIOSセットアップを使用する前の注意

- 通常、システム構成の変更はWindows上の「東芝HWセットアップ」、「東芝省電力」、「デバイスマネージャ」などで行ってください。
- 使用しているシステムによっては、システム構成を変更しても、変更が反映されない場合があります。
- BIOSセットアップで設定した内容は、電源を切っても消えません。しかし、内蔵バッテリ（時計用バッテリ）が消耗した場合は標準設定値に戻ります。

① 起動と終了／BIOSセットアップの操作

BIOSセットアップの起動と終了、基本操作について説明します。

1 起動

1 電源を入れた直後（起動時）に Esc キーを押す

起動時に「TOSHIBA」画面が表示されます。目安として、この画面が表示中に Esc キーを押します。
「Password = 」と表示された場合は、登録したユーザパスワードを入力し、Enter キーを押してください。
「Check system. Then press [F1] key.」と表示されます。

2 F1 キーを押す

BIOSセットアップが起動します。

2 終了

変更した内容を有効にして終了します。

1 Fn ＋ → キーを押す

本製品では、Fn ＋ → キーが End キーの機能を持ちます。
画面にメッセージが表示されます。

2 Y キーを押す

設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
変更した項目によっては、再起動されます。

途中で終了する方法

設定内容がよくわからなくなったり、途中で設定を中止する場合に行います。この場合は変更した内容はすべて無効になります。設定値は変更前の状態のままです。

1 Esc キーを押す

画面にメッセージが表示されます。

2 Y キーを押す

BIOSセットアップが終了します。

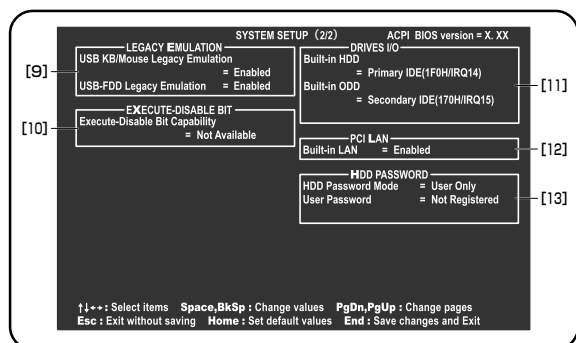
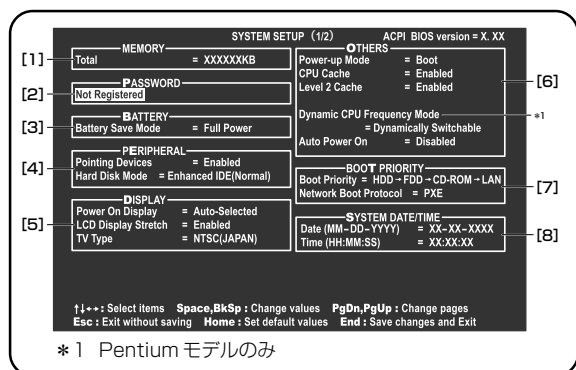
3 基本操作

基本操作は次のとおりです。

変更したい項目を選択する	↑、↓、←、→ 画面中で反転している部分が現在変更できる項目です。
項目の内容を変更する	Space または BackSpaceE
画面を切り替える	Fn＋↓ または Fn＋↑ 本製品では、Fn＋↓ が PgDn キー、Fn＋↑ が PgUp キーの機能を持ちます。 次の画面または前の画面に切り替わります。
設定内容を標準値にする	Fn＋← 本製品では、Fn＋← が Home キーの機能を持ちます。 次の項目は、この操作をしても変更されません。 ● PASSWORD ● Hard Disk Mode ● HDD PASSWORD

② BIOS セットアップの画面

BIOS セットアップには次の２頁の画面があります。

＊1 Pentium モデルのみ

（注）画面は標準設定値の表示例です。

③ 設定項目

カーソルが移動しない項目は、変更できません（参照のみ）。ここでは、標準設定値を「標準値」と記述します。

1 MEMORY

【 Total 】
本体に取り付けられているメモリの総メモリ容量が表示されます。

2 PASSWORD

【 Not Registered 】
ユーザパスワードが登録されていないときに表示されます（標準値）。

【 Registered 】
ユーザパスワードが登録されているときに表示されます。

■ ユーザパスワードの登録 ■
ユーザパスワードの登録は「東芝 HW セットアップ」で行うことを推奨します。

■ ユーザパスワードの削除 ■
「東芝 HW セットアップ」からの削除については《オンラインマニュアル 8 章 4-①-1 ユーザパスワード》を確認してください。

1 **BIOS セットアップを起動する**

2 **「PASSWORD」の「Registered」を選び、Space または BackSpace キーを押す**

パスワードが入力できる状態になります。

3 **登録してあるパスワードを入力する**

入力すると 1 文字ごとに＊が表示されます。

4 **Enter キーを押す**

パスワードが削除されます。手順３で入力したパスワードが登録したパスワードと異なる場合は、エラーメッセージが表示された後、パスワードの入力画面が表示されます。手順３からやり直してください。

■ ユーザパスワードを忘れてしまったとき ■
ユーザパスワードを忘れてしまった場合は、近くの保守サービスに相談してください。ユーザパスワードの解除を保守サービスに依頼する場合は、有償です。またそのとき、身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

■ ユーザパスワードの変更 ■
ユーザパスワードを削除してから、登録を行ってください。

参照 ユーザパスワードの削除と登録について
《オンラインマニュアル 8 章 4-①-1
ユーザパスワード》

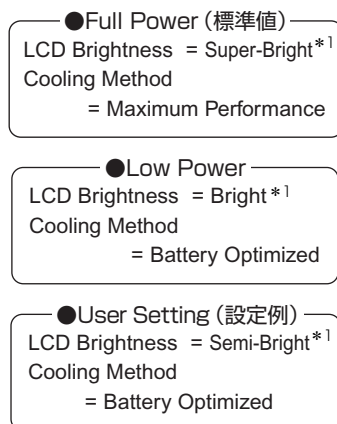
3 BATTERY

【 Battery Save Mode 】
バッテリセーブモードを設定します。
「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウが開きます。
「User Setting」を選択した場合のみ、設定の変更ができます。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの設定項目は次のように表示されます。

●Full Power（標準値）
LCD Brightness = Super-Bright＊1
Cooling Method
= Maximum Performance

●Low Power
LCD Brightness = Bright＊1
Cooling Method
= Battery Optimized

●User Setting（設定例）
LCD Brightness = Semi-Bright＊1
Cooling Method
= Battery Optimized

＊1 AC アダプタを接続している場合の表示内容です。

「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウを閉じるには、↑ ↓キーを押して選択項目を「LCD Brightness」または「Cooling Method」の外に移動します。

次に「BATTERY SAVE OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。

- LCD Brightness（LCD 輝度）
  画面の明るさを選択します。
  - Semi-Bright .... 低輝度に設定する
  - Super-Bright ..... 最高輝度に設定する
  - Bright .... 高輝度に設定する

- Cooling Method（CPU 熱制御方式）
  CPU の熱を冷ます方式を選択します。CPU が高熱を帯びると故障の原因になります。
  - Maximum Performance
    .... パソコン本体内部の温度が上昇したときに、主にファンを使用して冷却します。
  - Performance
    .... パソコン本体内部の温度が上昇したときに、［Maximum Performance］と［Battery Optimized］の中間的な方法で冷却します。
  - Battery Optimized
    .... パソコン本体内部の温度が上昇したときに、主に CPU の処理速度を落として冷却します。［Performance］より消費電力は少なくなります。

4 PERIPHERAL

【 Pointing Device 】
タッチパッドを使用する／使用しないを設定します。

- Enabled（標準値）....... 使用する
- Disabled .... 使用しない

【 Hard Disk Mode 】
ハードディスクのモードを設定します。
項目を変更する場合は、パーティションの再設定を行ってください。

- Enhanced IDE（Normal）（標準値）
  .... 通常はこちらを選択する
- Standard IDE .... Enhanced IDE に対応していない OS を使用する場合に選択する
  この場合、528MB までが使用可能となり、残りの容量は使用できません。

5 DISPLAY

【 Power On Display 】
起動時の Windows ロゴを表示する表示装置を選択します。

- Auto-Selected（標準値）
  .... システム起動時に外部ディスプレイを接続しているときは外部ディスプレイだけに、接続していないときは本体液晶ディスプレイだけに表示する
- LCD ＋ Analog RGB
  .... 外部ディスプレイと本体液晶ディスプレイに同時表示する

SVGA モードに対応していない外部ディスプレイを接続して、「LCD ＋ Analog RGB」を選択した場合、外部ディスプレイには画面が表示されません。

【 LCD Display Stretch 】
本体液晶ディスプレイの解像度の伸張を選択します。

- Enabled(標準値) .... 解像度の小さい表示モードを伸張して表示する
- Disabled .... 解像度の小さい表示モードは伸張せずにそのまま表示する

【 TV Type 】
テレビ受信機を選択します。

- NTSC（JAPAN）（標準値）
  .... 日本仕様の TV 受信機
- PAL .... ヨーロッパ仕様の TV 受信機
- NTSC（US）...... 米国仕様の TV 受信機

6 OTHERS

【 Power-up Mode 】
レジューム機能を設定します。
本製品では「Boot」に設定されています。変更はできません。

- Boot（標準値）............. レジューム機能を無効にする

【 CPU Cache（キャッシュ）】
CPU 内のキャッシュメモリを使用するかどうかの設定をします。
使用するアプリケーションソフトによっては設定を変更する必要があります。

- Enabled（標準値）....... キャッシュメモリを使用する
- Disabled .... キャッシュメモリを使用しない

【 Level 2 Cache 】
２次キャッシュを使用するかどうかの設定をします。
「CPU Cache」が「Disabled」に設定されている場合は表示されません。

- Enabled（標準値）....... ２次キャッシュを使用する
- Disabled ２次キャッシュを使用しない

【 Dynamic CPU Frequency Mode 】
＊ Pentium モデルのみ

- Dynamically Switchable（標準値）
  .... CPU の消費電力・周波数自動切り替え機能を有効にし、使用状況に応じて CPU 周波数を自動的に切り替えます。
- Always High
  .... CPU の消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、CPU 周波数を高周波数にしてパソコンの処理能力を優先します。
- Always Low
  .... CPU の消費電力・周波数自動切り替え機能を無効にし、CPU 周波数を低い周波数にしてパソコンのバッテリ駆動時間を優先します。

【 Auto Power On（タイマ・オン機能）】
タイマ・オン機能の設定状態を示します。タイマ・オン機能は 1 回のみ有効です。起動後は設定が解除されます。
Windows XP を使用している場合は「Auto Power On」の設定は無効になります。Windows のタスクスケジューラを使用してください。

- Disabled（標準値）..... タイマ・オン機能が設定されていない
- Enabled .... タイマ・オン機能が設定されている

タイマ・オン機能の設定は「OPTIONS」ウィンドウで行います。

パスワードセキュリティで設定したパスワードと休止状態が設定してある状態で、タイマ・オン機能（Auto Power On）を設定してシステムを起動させた場合、「Password=」と表示されます。パスワードセキュリティで設定したパスワードを入力すると、休止状態からWindows に復帰します。

参照 パスワードセキュリティの設定
《オンラインマニュアル 8 章 1
システム環境の変更とは》

「OPTIONS」ウィンドウの項目について説明します。
アラームの時刻の設定は(Space) または (BackSpace) キーで行います。
時と分、月と日の切り替えは、(↑)(↓)キーで行います。

- Alarm Time
  自動的に電源を入れる時間を設定します。
  - Disabled .... 時間を設定しない
- Alarm Date Option
  自動的に電源を入れる月日を設定します。
  「Alarm Time」が「Disabled」の場合は、設定できません。
  - Disabled .... 月日を設定しない

7 BOOT PRIORITY

【 Boot Priority 】
システムを起動するディスクドライブの順番を設定します。通常は「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」に設定してください。

- HDD → FDD → CD-ROM → LAN（標準値）
- FDD → HDD → CD-ROM → LAN
- HDD → CD-ROM → LAN → FDD
- FDD → CD-ROM → LAN → HDD
- CD-ROM → LAN → HDD → FDD
- CD-ROM → LAN → FDD → HDD

（FDD → HDD → CD-ROM → LAN 以下：指定のドライブ順に起動する）

【 Network Boot Protocol 】
ネットワークからの起動について設定します。

- PXE（標準値）......... PXE プロトコルに設定する
- RPL .... RPL プロトコルに設定する

8 SYSTEM DATE/TIME

日付と時刻の設定は(Space) または (BackSpace)キーで行います。
月と日と年、時と分と秒の切り替えは、(↑)(↓)キーで行います。

【 Date 】
日付を設定します。

【 Time 】
時刻を設定します。

9 LEGACY EMULATION

【 USB KB/Mouse Legacy Emulation 】
USB キーボードやマウスのレガシーサポートを行うかどうかを設定します。

- Enabled（標準値）
  .... レガシーサポートを行う
  ドライバなしで USB キーボード／USB マウスが使用できます。
- Disabled
  .... レガシーサポートを行わない

【 USB-FDD Legacy Emulation 】

- Enabled（標準値）
  .... レガシーサポートを行う
  ドライバなしで USB フロッピーディスクドライブが使用できます。フロッピーディスクから起動する場合は、こちらに設定します。
- Disabled
  .... レガシーサポートを行わない

「USB-FDD Legacy Emulation」が「Enabled」に設定されていても、「BOOT PRIORITY」の「Boot Priority」が標準値の「HDD → FDD → CD-ROM → LAN」の場合は、本体ハードディスクから起動します。

10 EXECUTE-DISABLE BIT

【 Execute-Disable Bit Capability 】
エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能を有効にするかどうかを設定します。
エグゼキュート・ディスエーブル・ビット機能とは、コンピュータウイルスや不正アクセスによるバッファ・オーバーフロー攻撃からパソコンを守るために、セキュリティを強化する機能です。

- Available .... 有効にする
- Not Available（標準値）....... 無効にする

11 DRIVERS I/O

【 Built-in HDD 】
ハードディスクドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

【 Built-in ODD 】
ドライブのアドレス、割り込みレベルの設定を表示します。変更はできません。

12 PCI LAN

【 Built-in LAN 】
内蔵 LAN の機能を有効にするかどうかの設定をします。

- Enabled（標準値）....... 有効にする
- Disabled .... 無効にする

【 HDD Password Mode 】
登録する HDD パスワードを選択します。HDD パスワード（ユーザ HDD パスワード、マスタ HDD パスワード）を登録していないときのみ、選択できます。HDD パスワードが登録されている場合は、いったん HDD パスワードを削除してから選択してください。

・ User Only（標準値）... ユーザ HDD パスワードのみ設定する
・ Master+User .... マスタ HDD パスワードとユーザ HDD パスワードを設定する

【 User Password 】
ユーザ HDD パスワードを設定します。

【 Master Password 】
マスタ HDD パスワードを設定します。
「HDD Password Mode」が「Master+User」の場合のみ表示されます。
マスタ HDD パスワードを設定し、続けてユーザ HDD パスワードの設定を行います。

HDD パスワードの設定方法
《オンラインマニュアル 8 章 4-③
HDD パスワード》

5章

パソコンの動作がおかしいときは

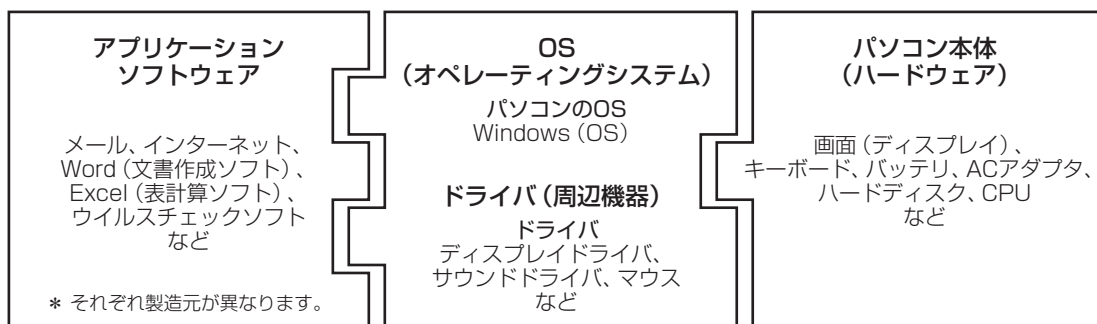
パソコンの操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。
トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

1 トラブルを解消するまでの流れ

お使いのパソコンに起こったトラブルについて、解決方法を見つけていきましょう。

① トラブルの原因をつき止めよう

パソコンに起こるトラブルは、その原因がどこにあるかによって解決策が異なります。そのために、パソコンの構造をある程度知っておくことが必要です。ここでは、パソコンの構成と、それぞれの構成部分で起こるトラブルの例、その解決方法を紹介します。

【 パソコンを構成する３つの部分 】

パソコンはこれらの高度な技術の集合体です。トラブルの原因がそれぞれの製造元にしかわからない場合も多くあります。トラブルの症状にあわせた対処をすることが解決への早道です。
トラブルの解決には、最初に原因の切り分けを行います。一般的にはアプリケーションソフトウェア→OS、ドライバ→パソコン本体の順にチェックします。

STEP 1　アプリケーションソフトウェアのチェック

例１：メールやインターネットがつながらない
アクセスポイントやメールサーバ、ID、パスワードなどの設定を確認します。これらの設定は契約プロバイダごとに異なります。契約プロバイダから指定された設定データが正しくパソコンの設定に反映されているかを確認してください。

例２：使いかたがわからない
オンラインマニュアルを読んで、アプリケーションソフトの使いかたを確認します。

次頁Aへ

STEP 2　OSやドライバのチェック

例３：正常に画面が表示されない、音が出ない、設定があっているのにインターネットにつながらない

例４：青い画面で「STOPOX********」（一般に「STOPエラー」や「ブルースクリーン」「ブルーパニック」とよばれる画面）が表示された
周辺機器やソフトをインストールしたあとに起こることが多いものです。その前に行った作業を一度元に戻すことでトラブルが解決する場合が少なくありません。

次頁Bへ

STEP 3　パソコン本体のチェック

例５：電源ランプが点灯せず、パソコンがまったく動かない。ドライバを入れ直しても機器が動かない
パソコン本体が動作する場合は、「リカバリ（再セットアップ）」を行ってください。「リカバリ」は、ハードディスクのデータが消えるため、バックアップを行うことをおすすめします。

次頁Cへ

A 各アプリケーションのトラブル解消法／プロバイダへのお問い合わせ

例１： プロバイダへのお問い合わせについて
お客様ご契約のプロバイダの窓口へお問い合わせください。
本製品のプロバイダサインアップソフトから契約できるプロバイダのお問い合わせ先は《オンラインマニュアル ９章 ４ 問い合わせ先》を参照してください。

例２： アプリケーションの使いかたについて
《オンラインマニュアル ７章 アプリケーションについて》や、各アプリケーションのヘルプをご確認いただくか、各アプリケーションのサポート窓口へお問い合わせください。

参照 《オンラインマニュアル ９章 ４ 問い合わせ先》

B OS、ドライバのトラブル解消法

例３： ドライバの入れ直しについて
《オンラインマニュアル ５章 1-① ドライバをインストールする》を参照してください。

例４： トラブル解消によく使う操作について
《オンラインマニュアル ９章 ２ トラブル解消によく使う操作》を参照してください。

例４： 周辺機器の取りはずしについて
《オンラインマニュアル ５章 周辺機器を使って機能を広げよう》を参照してください。

追加した周辺機器をはずしてみてはどうか、追加したソフトを削除してはどうかなどと試してみてください。

それでもトラブルが解消しない場合には、「東芝 PC ダイヤル」へお問い合わせください。

参照 「本節 ② 電話で問い合わせる」

C パソコン本体のトラブル解消法

例５：必要なデータのバックアップをとる操作について
《オンラインマニュアル ７章 １ CD ／ DVD にデータのバックアップをとる》を参照してください。

例５：リカバリについて
「６章 リカバリをする」を参照してください。

それでもトラブルが解消しない、あるいはまったくパソコンが動かない場合は、パソコン本体が故障している可能性があります。パソコンの修理は、「東芝 PC 集中修理センタ」へ依頼してください。

パソコンの操作について、困ったときは、「東芝 PC ダイヤル」へお問い合わせください。

参照 「本節 ③ 修理に出す」
参照 「本節 ② 電話で問い合わせる」

役立つ操作集

「dynabook.com」では、「よくあるご質問（FAQ)」や、デバイスドライバや修正モジュールなどのダウンロード、Windows 関連情報を提供しています。

URL：http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm

参照 「dynabook.com」《オンラインマニュアル ９章 1-② トラブル事例を見てみる》

② 電話で問い合わせる

パソコンの操作について、困ったときは、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。技術的な質問、問い合わせに電話で対応します。

全国共通電話番号

0120-97-1048

（通話料・サポート料無料）

受付時間：9:00 ～ 19:00（年中無休）

[電話番号はおまちがえないよう、ご確認の上おかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、または直収回線など回線契約によってはつながらない場合がございます。
その場合は Tel 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

● 東芝 PC 電話サポート予約サービス
19:00 ～ 24:00 の時間帯に電話サポートをご希望のお客様には、東芝 PC ダイヤルからご希望の時間帯にお電話を差し上げます。
インターネットから電話サポート予約サービスをご利用ください。（定員制）
http://dynabook.com/assistpc/
本サービスのご利用には「お客様登録」が必要です。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、dynabook.com「サポート情報」→「東芝 PC ダイヤル」（http://dynabook.com/assistpc/techsupport/dial.htm） にてお知らせいたします。

1 トラブルチェックシート

東芝PCダイヤルでは電話での本製品の技術的な質問、お問い合わせにお答えいたします。円滑に対応させていただくために、次の内容をまとめ、お手元にお使いのパソコンをご用意のうえ、お問い合わせください。

Q.1 使用しているパソコンの型番は？
型番は本体裏面のラベルに記載されています。

Q.2 使用しているソフトウェア環境は？
Windows XPなど、使用しているシステムとアプリケーションは？
システムのバージョンやCPUの種類を「東芝PC診断ツール」で確認してください。

Q.3 どのような症状が起こりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.4 その症状はどのような操作をした後、発生するようになりましたか？
なるべく具体的にお知らせください。

Q.5 エラーメッセージなどは表示されましたか？
表示された場合、表示内容をお知らせください。

Q.6 その症状はどれくらいの頻度で発生しますか？
□ 一度発生したが、その後発生しない
□ 常に発生する
□ 電源を切らないと発生するが、
　電源を切ってから再起動すれば発生しない
□ 電源を切ってから再起動しても必ず発生する
□ その他：

Q.7 その症状が発生するのは決まった操作の後ですか？
□ ある一定の操作をすると発生する
□ どんな操作をしても発生する
□ その他：

Q.8 インターネットや通信に関する相談の場合
プロバイダ名：
使用モデム名：
使用回線：□ ブロードバンド
　　　　　□ ダイヤルアップ接続
　　　　　□ ISDN接続
　　　　　□ 携帯電話・PHS接続

Q.9 周辺機器に関する相談の場合
機器名（製品名）：
メーカー名：

---

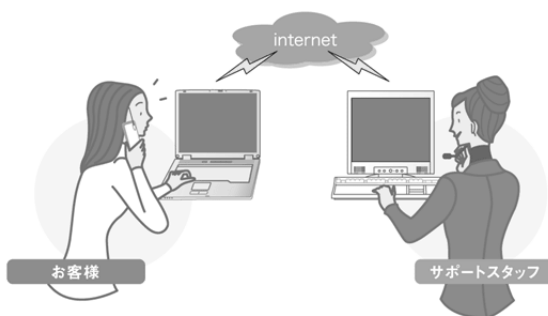
2 遠隔支援サービス

URL：http://dynabook.com/assistpc/remote/index_j.htm

「遠隔支援サービス」は、お客様のパソコン画面をサポートスタッフがインターネット経由で拝見しながら、技術サポートを行うサービスです。実際のパソコン操作は、サポートスタッフからの電話とお客様のパソコンに表示されるマーカの指示に従い、お客様ご自身で行っていただきます。

メモ

- 本サービスの利用を希望される場合は、事前に東芝PCダイヤルにご相談をお願いします。ご相談されずに本サービスを利用することはできません。
- 画面の画像情報を通信するためにブロードバンド回線（ADSLなど）が必要となります。また、電話にてサポートを行うため、インターネットと同時に電話が接続できることも必須となります。
- 本サービスでは、画面情報のみ送信されます。画面に表示されない限り、スタッフがパソコン本体に保存されている情報を見ることはできません。また、本サービスはセキュリティ対策を行っております。情報は暗号化されて送られ、個人情報の漏洩などのおそれはありません。
- 本サービスでは、お客様のパソコンに操作案内用のマーカを表示するためのデータを送りますが、お客様のパソコンの内部データを書き換えることは一切ありません。
- 本サービスは登録が不要です。同意事項を了承いただくことで、利用できます。本サービスは無償サービス*です。

＊ インターネットに接続するための費用などは、お客様の負担となります。

お客様
電話やマーカなどによる案内に従い、お客様ご自身でパソコンを操作していただきます。

東芝PCダイヤル
お客様のパソコンの画面を東芝PCダイヤル側で拝見します。
その画面を見ながら、的確な操作方法を電話でお伝えします。

③ 修理に出す

パソコンの修理のお申し込みは、東芝PC集中修理センタに連絡してください。修理のお申し込み方法には、次の3つがあります。

お申し込み方法

■インターネット

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/i_repair.htm からお申し込みください。

■ Fax

「修理依頼シート」(同梱の『東芝PCサポートのご案内』に記載)に必要事項を記入のうえ、

Fax 043-278-8137 に送付してください。

* Fax番号は、おまちがえのないよう、お確かめのうえおかけください。

「修理依頼シート」は当センタのホームページ

http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm からも印刷できます。

■電話

通話無料番号 ハロー クイックニ

TEL 0120-86-9192

受付時間 9:00 ～ 22:00(特別休日、12/31 ～ 1/3を除く)
海外からの電話、携帯電話、PHSまたは直収回線など回線契約によってつながらない場合は

TEL 043-278-8122 までご連絡ください。

* 電話番号は、おまちがえのないよう、お確かめのうえおかけください。

ピックアップサービス

修理の際は、簡単・便利な「ピックアップサービス」をご利用ください。
輸送業者がパソコン輸送専用の梱包箱を持参してご自宅まで伺い、面倒な梱包から引き取り、修理完了後の納品まで行います。
※「保証修理」「有料修理」ともに「ピックアップサービス」料金は「無料」です。

【お申し込みの際、必ずご確認ください】

- 保証期間中に故障した場合、保証書に記載の「保証修理規定」に従い、無料修理をさせていただきます。
- 修理依頼の際は、記憶装置内の内容は保証いたしません。必ずバックアップをお取りください。また、修理にともなうハードディスクの修理・データの初期化(標準出荷状態)の際は、記憶装置内の内容が消去されることをあらかじめご了承ください。
- その他詳細につきましては、当センタのホームページ(http://dynabook.com/assistpc/repaircenter/index_j.htm)に記載の「修理規約」をご覧ください。
- お客様のプライバシー・個人情報の保護については、「個人情報保護方針」(http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm)をご覧ください。

Q&A集

メモ

- この他にも、《オンラインマニュアル》には、キーボード、CD ／ DVD、Windows、その他についての Q&A 集を多数用意しておりますので、あわせてご確認ください。

電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押しても反応しない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。

Power LED が青色に点灯するまで押し続けてください。

Q 1 度電源が入りかけるがすぐに切れる 電源が入らない

A バッテリの充電量が少ない可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
（他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について
「3 章 バッテリ駆動で使う」

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、保守サービスに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A 起動ドライブをハードディスクドライブ以外に設定した場合に、システムの入っていないメディアがセットされている可能性があります。

システムが入っているメディアと取り替えるか、またはドライブからメディアを取り出してから、何かキーを押してください。
それでも正常に起動しない場合は、強制終了してください。強制終了の方法は、「本節 電源を入れるとき／切るとき - Q ［シャットダウン］や［終了オプション］から電源が切れない」を確認してください。
強制終了した後、次のように操作するとシステムが起動します。

①電源スイッチを押し、電源を入れた直後（［TOSHIBA］画面が表示されている間）に F12 キーを押す
②表示されたアイコンからシステムの入っているドライブ（通常はハードディスクドライブ）を ← キーや → キーで選択し、Enter キーを押す

A 電源スイッチを押した後、［TOSHIBA］画面が表示されている間に F8 キーを押すと、正常な状態で起動しなおすことができます。

電源スイッチを押した直後に F8 キーを押すと、画面に Windows 拡張オプションメニューが表示されます。［前回正常起動時の構成］を選択し、Enter キーを押してください。

参照 詳細について
《オンラインマニュアル 9 章 2- ② 正常な状態で起動しなおす》

Q ［シャットダウン］や［終了オプション］から電源が切れない

A Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押して、電源を切ってください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

- **ドメイン参加している場合**

①Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押す
［Windows のセキュリティ］画面が表示されます。
②［シャットダウン］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Alt ＋ S キーを押してください。
③［シャットダウン］を選択し、［OK］ボタンをクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、↑ キーや ↑ キーで［シャットダウン］を選択し、Enter キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

- **ドメイン参加していない場合**

①Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押す
［Windows タスクマネージャ］画面が表示されます。
②メニューバーの［シャットダウン］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、Alt ＋ U キーを押してください。
③［コンピュータの電源を切る］をクリックする
タッチパッドやマウスで操作できない場合は、U キーを押してください。
プログラムを強制終了し、電源が切れます。

A Ctrl ＋ Alt ＋ Del キーを押しても反応がない場合は、電源スイッチを 5 秒以上押してください。

この場合、保存されていない作成中のデータは消失します。

Q 使用中に突然電源が切れてしまった

A パソコン内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

パソコン本体が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、パソコンの内部温度が下がるのを待ってください。
また、通風孔をふさぐと、パソコンの温度は非常に上昇しやすくなります。通風孔のまわりには物を置かないでください。
それでも電源が切れる場合は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

A バッテリ駆動で使用している場合、バッテリの充電量がなくなった可能性があります。

次のいずれかの対処を行ってください。

- 本製品用の AC アダプタを接続して、電源を供給する
  （他製品用の AC アダプタは使用できません）
- 充電済みのバッテリパックを取り付ける

参照 バッテリの充電について
「3 章 バッテリ駆動で使う」

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A Power LED が青色に点灯している場合、表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
(Shift)キーや(Ctrl)キーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。

A Power LED がオレンジ色に点滅しているか、消灯の場合、自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

① [コントロールパネル] を開き、[パフォーマンスとメンテナンス] をクリックする
② [東芝省電力] をクリックする
③ [プロファイル] で利用するプロファイルを選択する
④ [基本設定] タブで [システムスタンバイ] および [システム休止状態] のチェックをはずす
⑤ [OK] ボタンをクリックする

Q 間違って電源を切ってしまった

A パソコンを終了する場合は、[スタート] → [終了オプション] をクリックします。

パソコンが処理をしている最中（Disk LED が点灯中）に電源が切れてしまうと、ハードディスクが故障する場合がありますので、正しい終了手順を守ってください。
正しい終了手順に従わずに強制終了した後、パソコンの動作に少しでも異常が起こった場合はエラーチェック（ハードディスクの検査）を行ってください。

参照 電源を切る方法
「1 章 2-① 電源を切る」

参照 エラーチェックの方法
《オンラインマニュアル 9 章 3 Q&A 集 その他 - Q セーフモードで起動した》

Q (F12)キーを押しながら電源を入れても、起動ドライブを変更できない

A スーパーバイザパスワードを設定するときに、起動ドライブを変更できないように設定されている可能性があります。

[ユーザパスワードモード] で「HW セットアップの起動不可」をチェックしていると、(F12)キーを押しながら電源を入れても、起動ドライブの選択ができません。「HW セットアップの起動可」をチェックしてください。

参照 スーパーバイザパスワード 《オンラインマニュアル 8 章 4-①-2 スーパーバイザパスワード》

画面／表示

Q 画面に何も表示されない

（Power LED が消灯、またはオレンジ色に点滅している場合）

A 電源が入っていないか、スタンバイまたは休止状態になっています。

電源スイッチを押してください。

Q 電源は入っているが、画面に何も表示されない

（Power LED が青色に点灯している場合）

A 表示自動停止機能が働いた可能性があります。

画面には何も表示されませんが実際には電源が入っていますので、電源スイッチを押さないでください。
Shiftキーや Ctrlキーを押す、またはタッチパッドを操作すると表示が復帰します。外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに 10 秒前後かかることがあります。

A インスタントセキュリティ機能が働いた可能性があります。

次の操作を行ってください。

- ［画面のプロパティ］の［スクリーンセーバー］タブで［パスワードによる保護］、または［再開時にようこそ画面に戻る］をチェックしていない場合
  Shiftキーや Ctrlキーを押すか、タッチパッドを操作してください。
- ［画面のプロパティ］の［スクリーンセーバー］タブで［パスワードによる保護］、または［再開時にようこそ画面に戻る］をチェックしている場合
  ① Shiftキーや Ctrlキーーを押すか、タッチパッドを操作する
  複数のユーザで使用している場合は、ユーザ名選択画面が表示されます。
  ② ログオンするユーザ名をクリックする
  ③ Windows のログオンパスワードを設定している場合は、パスワードの入力画面に Windows のログオンパスワードを入力し、Enterキーを押す

参照 Windows ログオンパスワード 『ヘルプとサポート センター』

A 表示装置が適切に設定されていない可能性があります。

Fn＋F5キーを 3 秒以上押し続けてください。
表示装置が本体液晶ディスプレイに切り替わります。

参照 詳細について
《オンラインマニュアル 5 章 周辺機器を使って機能を広げよう》

Q 画面が暗い

A Fn＋F7キーを押して、本体液晶ディスプレイ（画面）の輝度を明るくしてください＊1

Fn＋F6キーを押すと、逆に、本体液晶ディスプレイの輝度は暗くなります。Fnキーで本体液晶ディスプレイの輝度を変更した場合、パソコンの電源を切ったり再起動したりすると設定はもとに戻ります。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「東芝省電力」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。
詳細は、「東芝省電力」のヘルプを参照してください。
購入時の設定では、明るさレベルは最高に設定されています。次の手順で設定を変更してください。＊1

①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
②［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
③［基本設定］タブで［画面の明るさ］を設定する
［設定］ボタンをクリックすると、バッテリの残容量ごとに画面の明るさを設定できます。［解除］ボタンをクリックすると、バッテリの残容量ごとの設定は無効になります。
④［OK］ボタンをクリックする

＊1 この設定は、外部ディスプレイには反映されません。

バッテリ駆動で使用するとき

Q Battery LED が点滅した

A バッテリの充電量が残り少ない状態です。

ただちに次のいずれかの対処を行ってください。

- パソコン本体に AC アダプタを接続し、電源を供給する
- 電源を切ってから、フル充電のバッテリパックと取り換える

対処しないと、休止状態が有効に設定されている場合、パソコン本体は自動的に休止状態になり、電源を切ります。
休止状態が無効に設定されている場合、パソコン本体は何もしないで電源が切れますので、保存されていないデータは消失します。休止状態を有効にしておくことを推奨します。購入時は有効に設定されています。
また、データはこまめに保存しておいてください。

参照 バッテリの充電方法
「3 章 1-② バッテリを充電する」

Q 充電したはずのバッテリパックを使用しても Battery LED がオレンジ色に点滅する

A バッテリパックは使わずにいても充電量が少しずつ減っていきます。

もう 1 度充電してください。
バッテリを再充電しても状態が変わらない場合は、バッテリパックの充電機能が低下している可能性があります。別売りのバッテリパックと交換してください。
それでも状態が変わらない場合は、パソコン本体が故障していると考えられます。保守サービスに連絡してください。

参照 バッテリの充電量について
「3 章 1-① バッテリ充電量を確認する」

Q バッテリ駆動でしばらく操作しないとき、電源が切れる

A 自動的にスタンバイまたは休止状態になった可能性があります。

一定時間パソコンを使用しないときに、自動的にスタンバイまたは休止状態にするように設定されています。
復帰させるには、電源スイッチを押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。

①［コントロールパネル］を開き、［パフォーマンスとメンテナンス］をクリック→［東芝省電力］をクリックする
②［プロファイル］で利用するプロファイルを選択する
③［基本設定］タブで［システムスタンバイ］および［システム休止状態］のチェックをはずす
④［OK］ボタンをクリックする

周辺機器

周辺機器については《オンラインマニュアル 5 章 周辺機器を使って機能を広げよう》、『周辺機器に付属の説明書』もあわせて確認してください。

Q 周辺機器を取り付けたが正しく動かない

A パソコン本体が周辺機器を、「新しいハードウェア」として認識していない可能性があります。

［ハードウェアの追加ウィザード］を実行してください。

参照 《オンラインマニュアル 5 章 1-① ドライバをインストールする》

A 接続ケーブルが正しく接続されていない可能性があります。

接続ケーブルを正しく接続し直してください。

参照 周辺機器の接続について
《オンラインマニュアル 5 章 1 周辺機器を使う前に》

A システム（OS）に対応していない可能性があります。

周辺機器によっては、使用できるシステム（OS）が限られているものがあります。使用しているシステム（OS）に対応しているか確認してください。

Q 増設メモリが認識されない

A メモリを増設しても「システム情報」などでメモリ容量の数値が変わらなかった場合、パソコンが増設メモリを認識していない可能性があります。

《オンラインマニュアル 5 章 周辺機器を使って機能を広げよう》を参照して、増設メモリを取りはずしてから、もう 1 度取り付けてください。

Q 外部記憶メディアをセットしても自動的に起動しない

A 自動起動に対応している外部記憶メディアでも、自動的に起動しない場合があります。

起動しているすべてのアプリケーションを終了し、外部記憶メディアをセットし直してください。それでも起動しない場合は次の手順で起動できます。

①［スタート］→［マイコンピュータ］をクリックする
②外部記憶メディアのアイコンをダブルクリックする

A 自動起動に対応していない外部記憶メディアを挿入している可能性があります。

自動起動に対応していない外部記憶メディアの場合は、自動起動できません。『外部記憶メディアに付属の説明書』などで確認してください。

メッセージ

Q 画面に「Password=」と表示された

A パスワードの入力などによる認証が必要です。

「東芝HWセットアップ」またはBIOSセットアップで設定したパスワードを入力し、Enterキーを押してください。

パスワードを忘れた場合は、使用している機種（型番）を確認後、保守サービスに連絡してください。有償にてパスワードを解除します。HDDパスワードを忘れてしまった場合は、ハードディスクドライブは永久に使用できなくなり、交換対応となります。この場合も有償です。またどちらの場合も身分証明書（お客様自身を確認できる物）の提示が必要となります。

参照 パスワードについて《オンラインマニュアル 8章 4 パスワードセキュリティ》

Q 「パスワードを忘れてしまいましたか？」「パスワードが誤っています。」と表示された

A 入力モードの状態により大文字／小文字を誤って入力した可能性があります。

Caps Lock LEDを確認してください。必要に応じてShift＋Caps Lock 英数キーを押して入力の状態を切り替え、もう1度入力してください。

Q 画面が青くなり、次のようなメッセージが画面一面に表示された

- 「A problem has been detected and windows has been shut down to prevent damage to your computer.」

A ハードウェアの接続に不具合が起きた、または何らかの原因で電源を切る前の状態を再現できなくなったというメッセージです。

休止状態のまま増設メモリの取り付け／取りはずしをしたときなどに表示されます。電源を切る前の状態は再現できません。
次の操作を行ってください。

①電源スイッチを5秒以上押し、パソコンを強制終了する
②再び電源スイッチを押して、パソコンを再起動する
「システムを前の場所から再起動できませんでした。」というメッセージが表示されます。
③「復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます」が反転表示していることを確認し、Enterキーを押す
Windowsが起動します。

Q 「Check system. Then press [F1] key.」と表示された

A 時計用バッテリが不足しています。

時計用バッテリは、ACアダプタを接続し、電源を入れているときに充電されます。

参照 時計用バッテリについて「3章 バッテリ駆動で使う」

ACアダプタを接続後、次の手順で、BIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

①F1キーを押す
「Enter Date : ..../../..」と表示されます。
②日付を入力し、Enterキーを押す
「Enter Time」と表示されます。
③時刻を入力し、Enterキーを押す
「Enter SETUP press [F1] key, or Load default setting press [F2] key」と表示されます。
④F2キーを押す
Windowsが起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照 日付と時刻の設定について「1章 1-③-日付と時刻の設定」

Q 休止状態から復帰したとき、「休止モードを準備しています」と表示された

A ［コントロールパネル］の［ユーザーアカウント］→［ユーザーアカウント］→［ユーザーのログオンやログオフの方法を変更する］の［ようこそ画面を使用する］がチェックされていると、休止状態から復帰したときにメッセージが表示される場合があります。

ログオンしたいユーザ名をクリックしてください。正常にログオンできます。

Q 「システムは休止状態からの復帰に失敗しました」と表示された

A 休止状態が無効になったというメッセージです。

電源を切る前の状態は再現できません。
［復元データを削除してシステムブートメニューにすすみます］を選択し、Enterキーを押してください。
Windowsが起動します。

Q 次のようなメッセージが表示された

- 「Insert system disk in drive.Press any key when ready」
- 「Non- System disk or disk error Replace and press any key when ready」
- 「Invalid system disk Replace the disk,and then press any key」
- 「Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk」
- 「Disk I/O error Replace the disk,and then press any key」
- 「Cannot load DOS press key to retry」
- 「Remove disks or other media.Press any key to restart」
- 「NTLDR is missing
  Press any key to restart」

A フロッピーディスクなどの起動ディスクを取り出し、何かキーを押してください。

上記の操作を行っても解決しない場合は、「本章 1-②-1 トラブルチェックシート」で必要事項を確認のうえ、東芝 PC ダイヤルに連絡してください。

Q C:¥ >_ のように表示された

A コマンドプロンプトが全画面表示されています。

次のいずれかの操作を行ってください。

- コマンドプロンプト画面をウィンドウ表示に切り替える
  (Alt)+(Enter)キーを押してください。
- コマンドプロンプト画面を終了する
  ① (E)(X)(I)(T)とキーを押す
  ② (Enter)キーを押す

Q その他のメッセージが表示された

A 使用しているシステムやアプリケーションの説明書を確認してください。

6章

リカバリをする

この章では、パソコンの動作がおかしくなり、いろいろなトラブル解消方法では解決できないときに行う「リカバリ」について説明しています。リカバリを行うことでシステムやアプリケーションを購入時の状態に復元できます。作成したデータなどが消去されますので、よく読んでから行ってください。

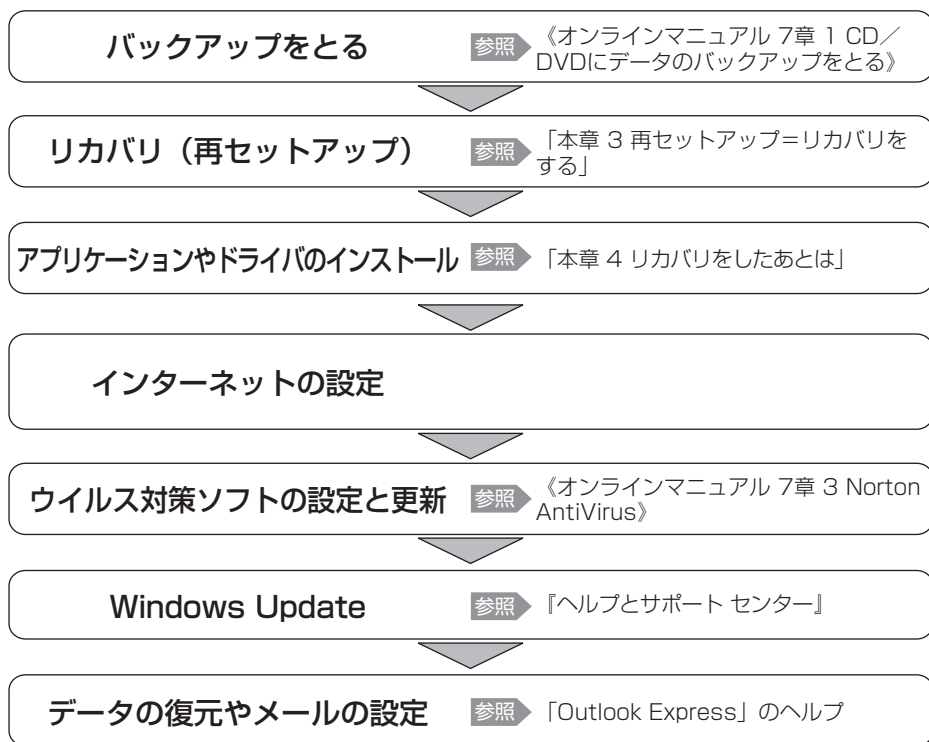
1 リカバリとは

① 再セットアップ（リカバリ）

システムやアプリケーションを購入時の状態に復元することをリカバリ（recovery）といいます。
リカバリをすると、システムを購入時の状態に戻し、プレインストールされているアプリケーションの一部を復元します。同時に、システムを復元するハードディスク内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windows ログオンパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定されていない状態になります。

次のような、どうしても他に方法がないときにリカバリをしてください。

- ハードディスクをフォーマットしてしまった
- ハードディスクにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピュータウイルスに感染し、駆除できない
- パソコンの調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝 PC ダイヤルに相談を行った結果、「リカバリが必要」と診断された

リカバリをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

役立つ操作集

アプリケーションの再インストール

購入時にプレインストールされていたアプリケーションやドライバを間違って消去（アンインストール）してしまった場合は、「アプリケーションの再インストール」で再インストールできます。

参照 詳細について 「本章 4-② アプリケーションを再インストールする」

② リカバリをする前に

1 ほかのトラブル解消方法を探す

パソコンの調子がおかしいと思ったときは、「5 章 パソコンの動作がおかしいときは」で解消へのアプローチを確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。
それでも、解消できないときにリカバリをしてください。

2 データのバックアップをとる

リカバリをすると、ハードディスク内に保存されていたデータは、すべて消えてしまいます。購入後に作成したファイルなど、必要なデータは、あらかじめ外部記憶メディアにバックアップをとってください。
また、インターネットやハードウェアなどの設定は、すべて購入時の状態に戻ります。
リカバリ後も現在と同じ設定でパソコンを使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
ただし、ハードディスクをフォーマットしたりシステムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しなくなってからでは、バックアップをとることができません。また、リカバリを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。
バックアップは、普段から定期的に行っておくことをおすすめします。

3 電源コード以外をはずす

マウスや増設したメモリなど、周辺機器を取りはずしてください。

4 音量を調節する

Fn＋Escキーを使って、内蔵スピーカやヘッドホンの音量をミュート（消音）にしている場合は、もう一度 Fn＋Escキーを押して元に戻しておいてください。

リカバリディスクを作る

パソコン本体には、システムやアプリケーションを購入時の状態に復元するためのリカバリ（再セットアップ）ツールが内蔵されています。「Recovery Disc Creator」を使ってリカバリディスクを作成し、あらかじめ、リカバリツールのバックアップをとっておくことをおすすめします。
リカバリディスクがない状態で、リカバリツールが起動せず、リカバリが行えない場合は、修理が必要になる可能性があります。

リカバリディスクでできること

何らかのトラブルでハードディスクからリカバリできない場合でも、リカバリディスクからリカバリをすることができます。

お願い

＊リカバリディスクを作成するには、下記以外にもお願い事項があります。
《オンラインマニュアル 7章 1 CD／DVDにデータのバックアップをとる》のお願いを確認してください。

- 「Recovery Disc Creator」ではDVD-RAM、DVD-R DL、DVD+R DLを使用できません。
- 「Recovery Disc Creator」を使ってリカバリディスクなどを作成するときは、他のアプリケーションソフトをすべて終了させてから、行ってください。
- 「RecordNow!」をアンインストールした場合は、「Recovery Disc Creator」が使用できません。必ず、「RecordNow!」をインストールした状態で行ってください。
- PCカードタイプのハードディスクドライブなどが取り付けてあると、「Recovery Disc Creator」が使用できない場合があります。その場合は、PCカードを取りはずしてからパソコンを再起動してください。

メモ

- 「Recovery Disc Creator」では、リカバリツールを次のメディアに保存して、リカバリディスクを作成できます。
  - ・DVD-R（DL除く）　・DVD-RW
  - ・DVD+R（DL除く）　・DVD+RW
- あらかじめバックアップ用のDVDを用意してください。［Recovery Disc Creator］画面で表示されるディスク番号が、必要な枚数です。複数枚使用する場合は、同じ規格のメディアで統一してください。

参照 使用できるDVDメディアについて 《オンラインマニュアル 3章 4 CDやDVDを使う》

リカバリツールのリカバリ DVD を作成するには、以降の説明を参照してください。

1 起動方法

1 **[スタート]→[すべてのプログラム]→[リカバリメディア作成ツール]をクリックする**

「Recovery Disc Creator」が起動します。

(表示例)

「Recovery Disc Creator」で作成するディスクは、画面に表示される枚数分、メディアが必要になります。

2 リカバリディスクを作成する

1 **[名前]で作成するディスクをチェックする(☑)**

チェックボックスにチェックがついているディスクを作成します。作成する必要のないディスクは、チェックをはずしてください。

2 **DVD メディアをセットする**

3 **[書込み]ボタンをクリックする**

書き込みが開始され、[進捗状況]に「ディスクに書込み中です。」と表示され、画面下に残りの時間が表示されます。
書き込みを途中で中止する場合は、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。

4 **メッセージを確認し、[OK]ボタンをクリックする**

書き込みが終了すると、ドライブのディスクトレイが自動的に開きます。
作成するディスクが複数枚ある場合は、メッセージに従って DVD メディアを入れ替えてください。作成したディスクの種類(リカバリディスクなど)と番号がわかるように、ディスク作成後は、忘れずに「XXXXXX ディスク XX」とレーベルをつけてください。リカバリをするとき、この番号通りにディスクを使用しないと、正しくリカバリされません。必ずディスク番号がわかるようにレーベルをつけてください。

5 **[閉じる]ボタン(☒)をクリックする**

[Recovery Disc Creator]画面が閉じ、ディスクの作成を終了します。
リカバリディスクからリカバリをする操作手順については、「本章 3-④ リカバリディスクからリカバリをする」を参照してください。

3 再セットアップ=リカバリをする

本製品にプレインストールされているWindowsやアプリケーションを復元する方法について説明します。
本製品のリカバリは、ユーザ権限に関わらず、誰でも実行できます。誤って他の人にリカバリを実行されないよう、ユーザパスワードを設定しておくことをおすすめします。

参照 ユーザパスワード《オンラインマニュアル 8章 4 パスワードセキュリティ》

① いくつかあるリカバリ方法

リカバリには、次の方法があります。

- ハードディスクドライブからリカバリをする
- リカバリディスクからリカバリをする

通常はハードディスクドライブからリカバリをしてください。
リカバリディスクからのリカバリは、ハードディスクドライブのリカバリ（再セットアップ）ツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、ハードディスクからリカバリができなかった場合などに行うことをおすすめします。
リカバリディスクからリカバリをする場合は、「本章 2 リカバリディスクを作る」を確認して、リカバリディスクを用意してください。

② 始める前に

リカバリをする前に、次の準備を行ってください。

必要なもの

- 『取扱説明書』
- リカバリディスク（作成したリカバリディスクからリカバリをする場合）

準備

- 必要なデータを保存する
  リカバリをすると、ハードディスクの内容は削除されます。必要なデータは、あらかじめバックアップをとってください。

  ただし、ハードディスクをフォーマットしたりシステムファイルを削除した場合や、電源を入れてもシステムが起動しなくなってからでは、バックアップをとることができません。また、リカバリを行っても、ハードディスクに保存されていたデータは復元できません。

参照 バックアップについて《オンラインマニュアル 7章 1 CD／DVDにデータのバックアップをとる》

- 電源コード以外をはずす
  マウスや増設したメモリなどを取りはずしてください。

参照 機器の取りはずし《オンラインマニュアル 5章 周辺機器を使って機能を広げよう》

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリができなくなることがあります。

③ ハードディスクからリカバリをする

ハードディスクのリカバリツールでは、次のメニューのなかからリカバリ方法を選択することができます。あらかじめリカバリ方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態（パーティションが2個の状態）に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータなどは消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■（推奨）
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。Cドライブに保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。ただし、BIOS情報やコンピュータウイルスなどの影響でデータが壊れている場合、Cドライブ以外の領域にあるデータも使えないことがあります。

■パーティションサイズを指定して復元■
Cドライブ（ハードディスク）のサイズを指定して復元することができます。Cドライブ以外のハードディスクの領域は一つの領域になり、そこに保存されていたデータは消去されます。

メモ

- どのメニューを選択しても、Cドライブにはリカバリツールから購入時と同じシステムが復元されます。

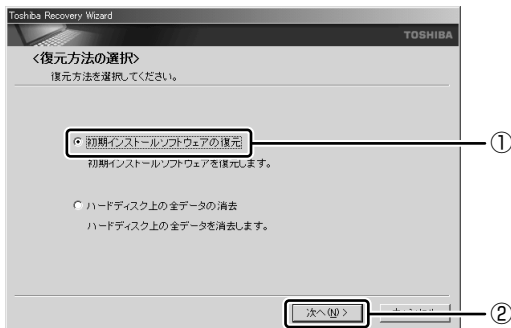
ここでは、「パーティションサイズを変更せずに復元」する方法を例にして説明します。

1 **パソコンの電源を切る**

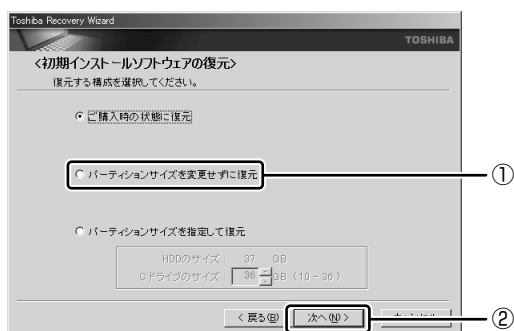
2 **ACアダプタと電源コードを接続する**

3 **キーボードの(0)（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、「TOSHIBA」画面が表示されてから手をはなす**

ユーザパスワードを設定している場合は、「Password= 」と表示されます。
ユーザパスワードを入力して(Enter)キーを押してください。
［復元方法の選択］画面が表示されます。

4 **［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②**

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏洩を防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、リカバリツールの領域以外のすべてのデータが削除されます。

参照 ハードディスクの消去について 「7章4-②-5 ハードディスクの内容をすべて消去する」

5 ［パーティションサイズを変更せずに復元］をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
他のメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

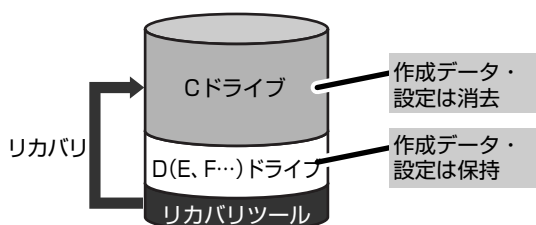
・［ご購入時の状態に復元］　　　　　　：P.61
・［パーティションサイズを指定して復元］：P.62

● 「パーティションサイズを変更せずに復元」とは
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。C ドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

C ドライブ（■）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

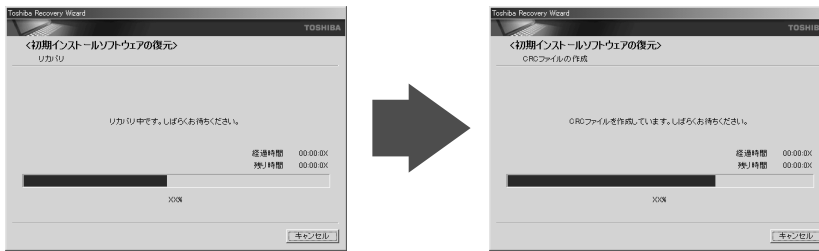
メモ

● リカバリツールの領域が確保されているため、ハードディスクの 100%を使用することはできません。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
復元が実行されます。

また、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、次の画面が表示されます。リカバリの経過に従い、画面が変わります。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

7 ［終了］ボタンをクリックする

システムが再起動し、［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示されます。

8 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について 「1 章 1 Windows を使えるようにする」

メモ

- 一部のアプリケーションは、リカバリ後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

参照 詳細について 「本章 4-② アプリケーションを再インストールする」

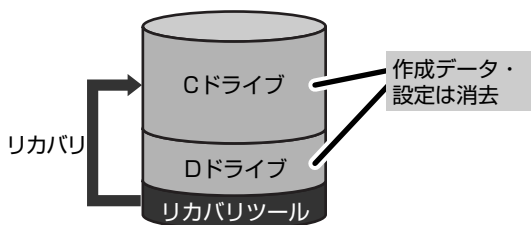
購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

参照 周辺機器の接続 《オンラインマニュアル 5 章 周辺機器を使って機能を広げよう》

［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリメニューについて

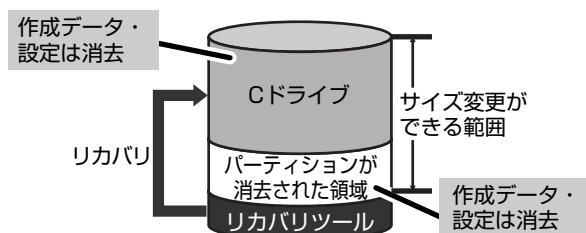
「本章 3-③ ハードディスクからリカバリをする」の手順５の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリメニューの意味と動作は次のようになります。

【 ご購入時の状態に復元 】

パソコンを購入したときの状態（パーティションが 2 個の状態）に戻します。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

手順５の後は「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

【 パーティションサイズを指定して復元 】
ハードディスク（C ドライブ）のサイズを変更します。
C ドライブ以外の領域区分（パーティション） は消去され、一つの領域になります。その領域（ ）は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理 「本章 4-①-1 パーティションを設定する」

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

①［C：ドライブのサイズ］で をクリックしてパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する
②［次へ］ボタンをクリックする
手順５の後は「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

④ リカバリディスクからリカバリをする

リカバリメディアでは、次のメニューのなかからリカバリ方法を選択することができます。あらかじめリカバリ方法を決めておくとスムーズに操作できます。

■ご購入時の状態に復元■
ハードディスクをパソコンを購入したときの状態（パーティションが２個の状態）に戻し、購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。購入後に作成したデータなどは消去されます。

■ Windows パーティションのみに復元■
ハードディスク全体を１つのパーティション（C ドライブのみ）にするため、全領域を使用できるようになります。なお、リカバリツールの領域は消去され、復元されません。購入時にプレインストールされていたシステムとアプリケーションを復元します。また購入後に作成したデータなどは消去されます。

■パーティションサイズを変更せずに復元■
パーティションサイズを変更して使用していた場合、そのパーティションの構造を保ったままシステムを復元します。C ドライブに保存されていたデータは消去され、購入時の状態に戻りますが、その他のドライブに保存されていたデータは、そのまま残ります。

■パーティションサイズを指定して復元■
C ドライブ（ハードディスク）のサイズを指定して復元することができます。C ドライブ以外のハードディスクの領域は１つの領域になり、そこに保存されていたデータとリカバリツールの領域は消去されます。

メモ

● どのメニューを選択しても、C ドライブには購入時と同じシステムが復元されます。

1 AC アダプタと電源コードを接続する

2 リカバリディスクをセットして、パソコンの電源を切る

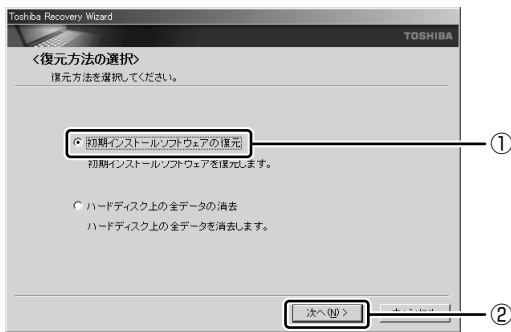
リカバリディスクが複数枚ある場合は、「ディスク 1」からセットしてください。

3 電源スイッチを押し、電源を入れた直後（「TOSHIBA」画面が表示されている間）にキーボードの F12 キーを押す

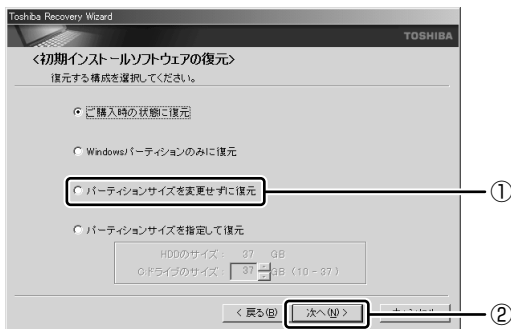
ユーザパスワードを設定している場合は、「Password= 」と表示されます。
ユーザパスワードを入力して Enter キーを押してください。

4 → または ← キーでCDのアイコンにカーソルを合わせ、Enter キーを押す

［復元方法の選択］画面が表示されます。

5［初期インストールソフトウェアの復元］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

［ハードディスク上の全データの消去］は、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、個人情報漏洩を防ぐために、ハードディスクのデータを完全に消去するためのものです。通常は実行しないでください。実行すると、ハードディスク上にある、すべてのデータが削除されます。

参照　ハードディスクの消去について 「7章4-②-5 ハードディスクの内容をすべて消去する」

6［パーティションサイズを変更せずに復元］をクリックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

［パーティションサイズを変更せずに復元］を選択した場合の意味と動作は、次のとおりです。
他のメニューを選択した場合については、次のページを参照してください。

・［ご購入時の状態に復元］　　　　　　：P.65
・［Windows パーティションのみに復元］：P.65
・［パーティションサイズを指定して復元］：P.65

● **「パーティションサイズを変更せずに復元」とは**
「パーティションサイズを指定して復元」を使って、すでにハードディスクの領域を分割している場合などに使用します。C ドライブがリカバリされ、それ以外の領域のデータはそのまま残ります。

C ドライブ（ ■ ）にあたる領域は、作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

（ハードディスクの領域を分割している場合の表示例）

「先頭パーティションのデータは、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

メモ

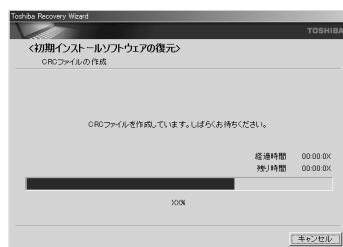
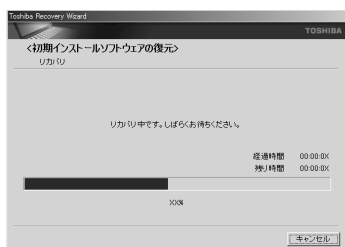
● 「ご購入時の状態に復元」と「パーティションサイズを変更せずに復元」を選択した場合は、リカバリツールの領域が確保されているため、ハードディスクの 100% を使用することができません。

7 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
復元が実行されます。

また、［パーティションを初期化しています。しばらくお待ちください。］画面が表示されます。

長い時間表示される場合がありますが、画面が切り替わるまでお待ちください。

復元中は、次の画面が表示されます。リカバリの経過に従い、画面が変わります。
リカバリディスクが複数枚ある場合、画面の指示に従って入れ替えてください。

＊ 手順６で［ご購入時の状態に復元］を選択した場合は、最初に［ファイルをコピーしています。しばらくお待ちください］画面が表示されます。

復元が完了すると、終了画面が表示されます。

8 ［終了］ボタンをクリックする

自動的にディスクトレイが開きます。リカバリディスクを取り出してください。
システムが再起動し、［Microsoft Windows へようこそ］画面が表示されます。

9 Windows のセットアップを行う

参照 詳細について 「1 章 1 Windows を使えるようにする」

● 一部のアプリケーションは、リカバリ後にアプリケーションのインストールをする必要があります。

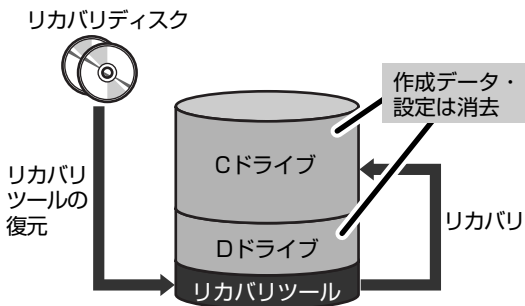
参照 詳細について 「本章 4- ② アプリケーションを再インストールする」

購入後に変更した設定がある場合は、Windows のセットアップ後に、もう 1 度設定をやり直してください。また、周辺機器の接続、購入後に追加したアプリケーションのインストールも、Windows のセットアップ後に行ってください。

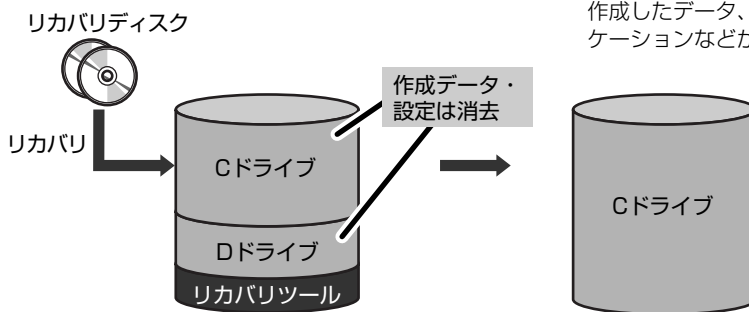
参照 周辺機器の接続 《オンラインマニュアル 5 章 周辺機器を使って機能を広げよう》

［初期インストールソフトウェアの復元］画面のリカバリメニューについて

「本章 3-④ リカバリディスクからリカバリをする」の手順６の［初期インストールソフトウェアの復元］画面で表示されるリカバリメニューの意味と動作は次のようになります。

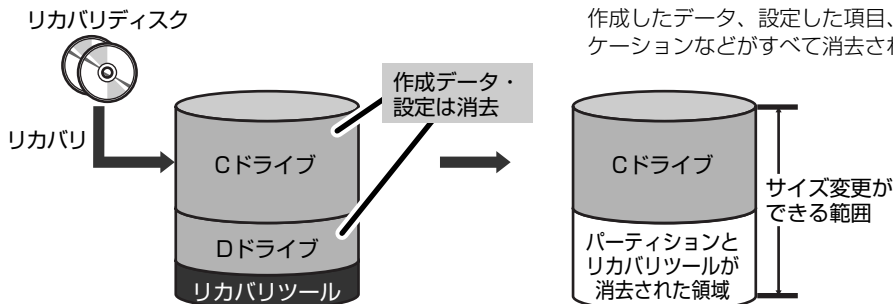
【 ご購入時の状態に復元 】
パソコンを購入したときの状態（パーティションが 2 個の状態）に戻します。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

手順６の後は「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

【 Windows パーティションのみに復元 】
ハードディスク全体を 1 つのパーティションにします。リカバリツールの領域は消去されます。

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

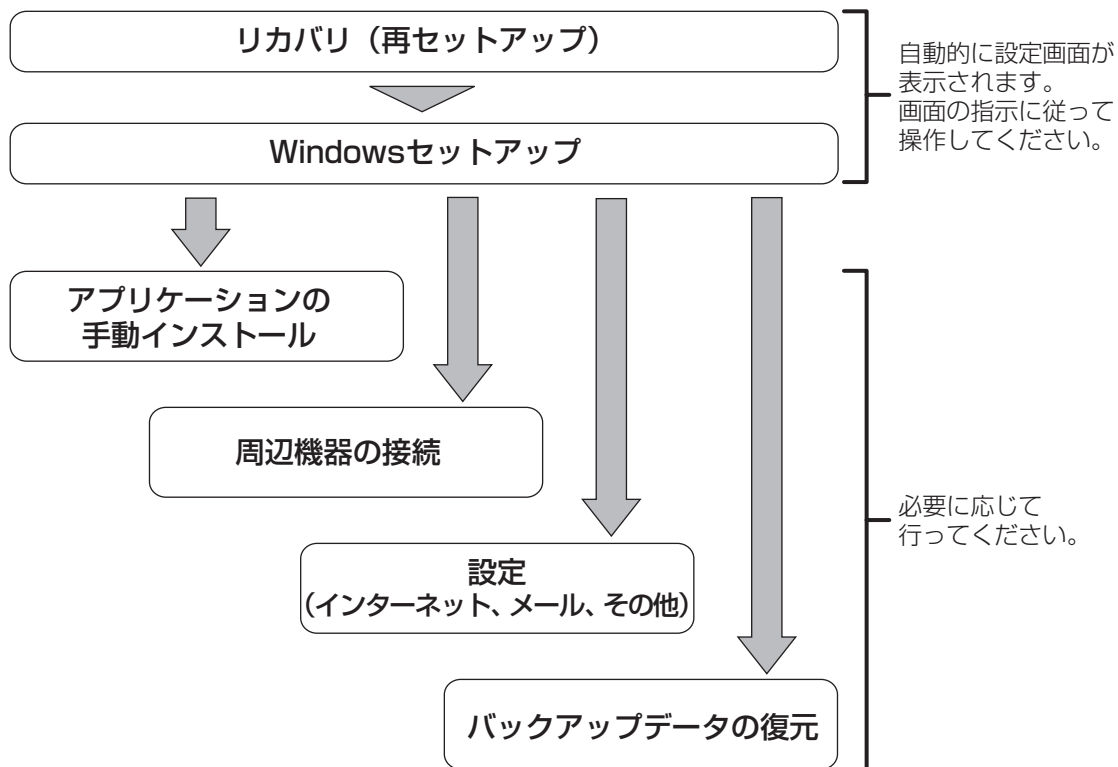
手順６の後は「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

【 パーティションサイズを指定して復元 】
ハードディスク（C ドライブ）のサイズを変更します。
C ドライブ以外の領域区分（パーティション） とリカバリツールの領域は消去され、一つの領域になります。その領域は「ディスクの管理」から再設定を行うと、再びドライブとして使用できるようになります。

参照 ディスクの管理 「本章 4-①-1 パーティションを設定する」

作成したデータ、設定した項目、インストールしたアプリケーションなどがすべて消去された状態になります。

①［C：ドライブのサイズ］で ▲ ▼ をクリックしてパーティション（C ドライブ）のサイズを指定する
②［次へ］ボタンをクリックする
　手順６の後は「ハードディスクの内容は、すべて消去されます。」というメッセージが表示されます。

4 リカバリをしたあとは

リカバリ後は次の流れで設定を行います。

ここでは次の点を説明します。

- パーティションの設定
- プレインストールアプリケーションの手動インストール

① Windows セットアップのあとは

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合のみ、次項［1］の操作を行ってください。

1 パーティションを設定する

パーティションの設定を変更してリカバリをした場合は、リカバリ後すみやかに次の設定を行ってください。

お願い

- Windows の「ディスクの管理」を使用すると、「HDDRECOVERY」というボリュームのパーティションが表示されます。このパーティションにはリカバリ（システムの復元）するためのデータが保存されていますので、削除しないでください。削除した場合、リカバリはできなくなります。

1 **コンピュータの管理者になっているユーザアカウントでログオンする**

2 **［コントロールパネル］を開き、［ パフォーマンスとメンテナンス］をクリックする**

3 **［ 管理ツール］をクリックする**

4 **［ コンピュータの管理］をダブルクリックする**

5 **画面左の［ディスクの管理］をクリックする**

設定していないパーティションは［未割り当て］と表示されます。

6 **［ディスク 0］の［未割り当て］の領域を右クリックする**

7 **表示されるメニューから［新しいパーティション］をクリックする**

［新しいパーティションウィザード］が起動します。

8 **［次へ］ボタンをクリックし、ウィザードに従って設定する**

次の項目を設定します。
・パーティションの種類
・パーティションサイズ
・ドライブ文字またはパスの割り当て
・フォーマット
・ファイルシステム

9 **設定内容を確認し、［完了］ボタンをクリックする**

フォーマットが開始されます。
パーティションの状態が［正常］と表示されれば完了です。
詳細については「コンピュータの管理」のヘルプを参照してください。

【 ヘルプの起動 】
①メニューバーから［ヘルプ］→［トピックの検索］をクリックする

② アプリケーションを再インストールする

本製品にプレインストールされているアプリケーションは、一度削除してしまっても、必要なアプリケーションやドライバを指定して再インストールすることができます。

【 必要なもの 】
- 『取扱説明書』、《オンラインマニュアル》

アプリケーションによっては、再インストール時に ID 番号などが必要です。あらかじめ確認してから、再インストールすることを推奨します。

同じアプリケーションがすでにインストールされているときは、コントロールパネルの「プログラムの追加と削除」または各アプリケーションのアンインストールプログラムを実行して、アンインストールを行ってください。
アンインストールを行わずに再インストールを実行すると、正常にインストールできない場合があります。ただし、上記のどちらの方法でもアンインストールが実行できないアプリケーションは、上書きでインストールしても問題ありません。

1 操作手順

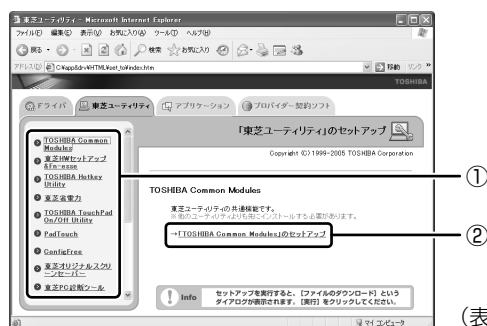
1 **［スタート］→［すべてのプログラム］→［アプリケーションの再インストール］をクリックする**

2 **［セットアップ画面へ］をクリックする**

アプリケーションやドライバのセットアップメニュー画面が表示されます。アプリケーションやドライバのセットアップメニューは、カテゴリごとのタブに分かれています。

初めて起動したときは、［ドライバ］タブが表示されています。タブをクリックして再インストールしたいアプリケーションを探してください。
画面左側にはアプリケーションの一覧が表示されています。
画面右側にはアプリケーションの説明が書かれていますので、よくお読みください。

3 **画面左側のアプリケーション名を選択し①、画面右側の「XXX のセットアップ」をクリックする②**

「XXX」にはアプリケーション名が入ります。選択したメニューによっては別の言葉が表示されます。説明文の下の青い下線の引かれている言葉をクリックしてください。

（表示例）

4 **表示されるメッセージに従ってインストールを行う**

［ファイルのダウンロード］画面が表示された場合は、「実行」ボタンをクリックしてください。

7章

登録とケア −廃棄と譲渡−

この章では、パソコンの日ごろのお手入れや、保守や修理に関することを説明しています。
バッテリの廃棄やパソコン本体を捨てるときや人に譲るときの処置について知っておいて欲しいことを説明しています。

お客様登録の手続き

パソコンやアプリケーションを使用するときは、自分が製品の正規の使用者（ユーザ）であることを製品の製造元へ連絡します。これを「お客様登録」または「ユーザ登録」といいます。
お客様登録は、パソコン本体、使用するアプリケーションごとに行い、方法はそれぞれ異なります。
お客様登録を行わなくても、パソコンやアプリケーションを使用できますが、お問い合わせをいただくときにお客様番号（「ユーザ ID」など、名称は製品によって異なります）が必要な場合や、お客様登録をしているかたへは製品に関する大切な情報をお届けする場合がありますので、使い始めるときに済ませておくことをおすすめします。

① 東芝 ID（TID）お客様登録のおすすめ

東芝では、お客様へのサービス・サポートのご提供の充実をはかるために東芝 ID（TID）のご登録をおすすめしております。
東芝 ID（TID）は、複数のデジタル商品、および東芝オンラインショッピングサイト「Shop1048」で共通にご利用いただけるお客様専用 ID です。Room1048 登録対象の東芝デジタル商品をご購入されたかたが対象で、インターネット経由でご登録いただけます。

「Shop1048」でご購入の際にお手続きのなかで、TID をご登録いただいたお客様は、あらためてご登録いただく必要はありません。また、TID をご登録後は、はがきでのご登録は不要です。

【 東芝 ID（TID）でご利用いただけるサービス 】
- お客様専用個人ページ「Room1048（ルームトウシバ）」をご利用いただけます。
- PC オンラインによるメールでの技術相談をお受けいたします。
- アンケートなどでご取得いただくポイントで、プレゼントの抽選にご応募いただけます。
- 「Shop1048」でお買い物時には、便利でお得な TID 会員メニューをご利用いただくことができます。

詳しくは、次のアドレス「東芝 ID（TID）とは？」をご覧ください。
https://room1048.jp/onetoone/info/about_tid.htm

お願い ご登録にあたって

- TID 登録には、メールアドレスが必要です（携帯電話のメールアドレスはご遠慮ください）。
- 上記のサービス項目のうち、個人ページおよびポイント制度については、個人のお客様のみ対象となります。
- ご登録住所は、日本国内のみに限らせていただきます。
- この記載内容は 2005 年 11 月現在のものです。内容については、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

登録方法

お客様の環境に応じて、登録方法を選択できます。

【 方法 1 - ［東芝お客様登録］アイコンからのご登録方法 】
インターネットを利用して登録する方法です。登録用のホームページに簡単にアクセスできます。
「いきなりインターネット」の無料体験機能を利用しますので、インターネット接続の設定やインターネットプロバイダと契約をしていないかたでも登録できます。
この操作の前に、モジュラーケーブル（市販）を用意してください。

【 方法 2 - インターネットからのご登録方法 】
インターネットに接続後、URL を入力して登録用のホームページにアクセスしていただきます。
すでにインターネット接続の設定がしてあり、インターネットを使ったことがあるかた向けの方法です。

【 方法 3 - インターネットにすぐに接続されないお客様 】
まだインターネット接続の予定がないかたは、『お客様登録カード』（はがき）で仮登録を行ってください。後日インターネットで正式な TID 登録を行っていただく必要があります。

商品の追加登録は「方法 1」または「方法 2」で行います。
続けてそれぞれの登録方法を紹介します。

1 ［東芝お客様登録］アイコンからのご登録方法

インターネット接続の設定やインターネットプロバイダとの契約をしていない場合に、本製品に添付のアプリケーション「いきなりインターネット」の無料体験機能を利用して、TID登録を行う方法を説明します。接続時間に応じた電話使用料金が電話会社より請求されますので、あらかじめご了承ください。

お願い　操作にあたって

あらかじめ、次のことを行ってください。

- コンピュータウイルスへの感染を防ぐために、ウイルスチェックソフトをインストールし、有効状態に設定しておいてください。

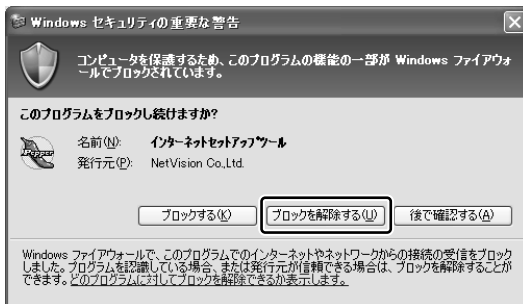
参照 《オンラインマニュアル 7 章 3 Norton AntiVirus》

- 電話回線のタイプ（パルス、またはトーン）を確認しておいてください。
- モジュラーケーブル（市販）を接続しておいてください。

参照 《オンラインマニュアル 4 章 1-② ダイヤルアップで接続する》

- 複数のユーザを登録している場合は、「コンピュータの管理者アカウント」のユーザで操作してください。「いきなりインターネット」は「制限付きアカウント」では使用できません。

メモ

- 操作の途中で、［Windows セキュリティの重要な警告］画面が表示された場合は、［ブロックを解除する］をクリックしてください。

  インストールしているウイルスチェックソフトの設定によって、インターネット接続を確認する画面がこの他にも表示される場合があります。インターネット接続を許可する項目を選択し、操作を進めてください。
- 初めて「Internet Explorer」を起動したときは、操作の途中で、「goo スティック」の利用を確認する［東芝 dynabook をご利用の皆様へ］画面が表示されます。
  「goo スティック」を利用する場合は、［利用規約を表示］をクリックし、利用規約を確認したあと［便利な goo スティックを利用する］をクリックしてください。利用しない場合は、［利用しない］ボタンをクリックし、あとで「goo スティック」をアンインストールしてください。

1 **デスクトップ上の［東芝お客様登録］アイコン（ ）をダブルクリックする**

［「お客様登録」のお願い］画面が表示されます。

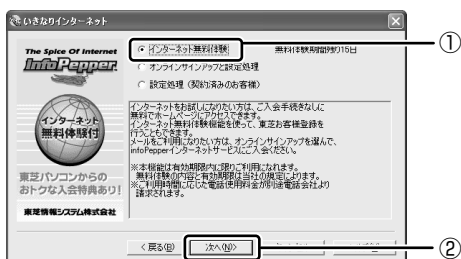
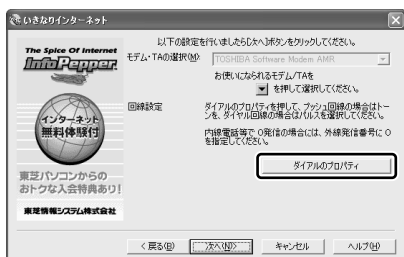
2 **内容を読んで［お客様登録へ進む］ボタンをクリックする**

3 **内容を読んで接続する状況に合ったボタンをクリックする**

【 インターネット接続の設定をしていない場合 】
［インターネットアクセス環境をお持ちでない方はこちらをクリック］をクリックしてください。
「いきなりインターネット」が起動します。手順４へ進んでください。

【 すでにインターネット接続の設定がしてある場合 】
「本項 2 インターネットからのご登録方法」の手順 2 をご覧のうえ、TID 登録を行ってください。

4 **［次へ］ボタンをクリックする**

5 **［インターネット無料体験］を選択し①、［次へ］ボタンをクリックする②**

6 **［ダイアルのプロパティ］ボタンをクリックする**

［電話とモデムのオプション］画面が表示されます。

7 **［編集］ボタンをクリックする**

［所在地の編集］画面が表示されます。

8 ［全般］タブで、［ダイヤル情報］と［ダイヤル方法］を設定し①、［OK］ボタンをクリックする②

お使いの電話回線のタイプに合わせて［トーン］または［パルス］を選択してください。
タイプがわからないときは、受話器を持ち上げてダイヤルしたときに「ピポパ」という発信音の場合は［トーン］、「カチカチカチ」という発信音の場合は［パルス］を選択してください。発信音で判断しにくい場合は、ご契約の電話会社にお問い合わせください。

「外線発信番号」は、外線発信するために、電話番号の前に特定の数字を入力する必要がある場合のみ設定してください。一般家庭では設定の必要はありません。

9 ［電話とモデムのオプション］画面の［OK］ボタンをクリックする

10 ［次へ］ボタンをクリックする

11 ［次へ］ボタンをクリックする

インターネットへの接続を開始します。
「infoPepper」のサーバに接続し、アクセスポイント一覧を自動的に取得します。
取得を完了すると、自動的に接続が切断されます。

12 ［アクセスポイント］の ▼ をクリックして表示された一覧から、アクセスポイントを選択する

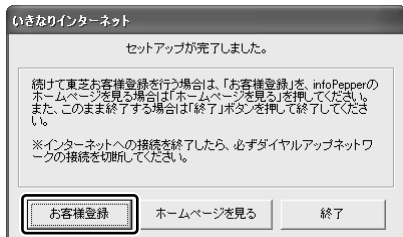
お住まいの場所に最も近い地名／市外局番のアクセスポイントを選択してください。

画面は、［東京／東京（03）ISDN, アナログ］を選択した場合の表示例です。

13 ［次へ］ボタンをクリックする

14 ［完了］ボタンをクリックする

［セットアップが完了しました。］画面が表示されます。

15 ［お客様登録］ボタンをクリックする

インターネットへの接続を開始します。
Internet Explorer が起動し、［東芝お客様登録］画面が表示されます。

16 ［東芝 ID（TID）サービスはこちら］をクリックする

（表示例）

東芝 ID（TID）のホームページに自動的にアクセスします。

17 ［東芝 ID（TID）新規登録・商品追加登録］欄で今回お買い上げの商品「パソコン」を選択する

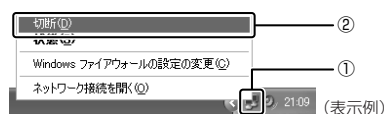
18 初めて TID をご登録される場合は、［新規 TID 登録に進む］ボタンをクリックする

画面のご案内に従ってご登録いただきますと、TID を発行いたします。
すでに他商品で TID を取得されたかたは、TID、パスワードを入力し、［商品追加登録に進む］ボタンをクリックしてください。商品の追加登録を行っていただくことができます。

役立つ操作集

インターネットへの接続を終了するには

TID 登録を完了したあとは、インターネットへの接続を終了してください。
①通知領域の［接続］アイコン（ ）を右クリックする
②表示されたメニューから［切断］をクリックする
　接続が終了すると通知領域の［接続］アイコン（ ）が消えます。

（表示例）

［スタート］→［接続］→［infoPepper XX（接続先）］をクリックし、［infoPepper XX（接続先）の状態］画面で［切断］ボタンをクリックして、切断することもできます。

2 インターネットからのご登録方法

1 「http://room1048.jp/」にアクセスする

2 ［東芝 ID（TID）新規登録・商品追加登録］欄で今回お買い上げの商品「パソコン」を選択する

画面のご案内に従ってください。

- 初めて TID をご登録される方
  ［新規 TID 登録に進む］ボタンをクリックしてください。
  画面のご案内に従ってご登録いただきますと、すぐに TID をご取得、ご利用いただけます。
- すでに他商品で TID を取得された方
  TID、パスワードを入力し、［商品追加登録に進む］ボタンをクリックしてください。
  商品の追加登録を行っていただくことができます。

3 インターネットにすぐに接続されないお客様

同梱の『お客様登録カード』（はがき）に必要事項をご記入のうえ、ご送付ください。
東芝 TID 事務局より、「お客様登録番号」と TID 登録用の「仮パスワード」をはがきにて通知いたします。はがき通知後、インターネットから TID をご登録ください。
TID はインターネットからのご登録受付になります。

- 初めて TID をご登録される方
  インターネットに接続されたときに、「http://room1048.jp/」にアクセスし、［「お客様番号」をお持ちのお客様］ボタンをクリックし、通知はがきに記載されている「お客様登録番号」と「仮パスワード」を入力して TID 登録を行ってください。
- すでに他商品で TID を取得された方
  インターネットに接続されたときに、「http://room1048.jp/」にアクセスし、「Room1048」にログインしたあと、［登録情報変更］→［ハガキを受け取られたお客様］を選択してください。

お願い

- TID 登録時点でお客様登録番号は無効となります。TID でのサービス・サポートをご利用ください。
- TID をご登録にならない場合は、お問い合わせなどの際にお客様登録番号が必要になることがありますので、はがきをお手元に保管してください。

② その他のユーザ登録

1 その他のアプリケーションのユーザ登録

パソコンに用意されている他のアプリケーションのユーザ登録については、同梱の『ユーザ登録用紙』または各アプリケーションのヘルプを確認してください。
また、各アプリケーションの問い合わせ先については、《オンラインマニュアル 9 章 4 問い合わせ先》を確認してください。

日常の取り扱いとお手入れ

⚠注 意

- お手入れの前には、必ずパソコンやパソコンの周辺機器の電源を切り、AC アダプタの電源プラグをコンセントから抜くこと
  電源を切らずにお手入れをはじめると、感電するおそれがあります。

お願い

- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。

日常の取り扱いでは、次のことを守ってください。

1 パソコン本体／ AC アダプタ／電源コード

- 『安心してお使いいただくために』に、パソコン本体、AC アダプタ、電源コードを使用するときに守ってほしいことが記述されています。
  あらかじめその記述をよく読んで、必ず指示を守ってください。
- 機器の汚れは、柔らかくきれいな乾いた布などでふき取ってください。汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってからふきます。
  中性洗剤、揮発性の有機溶剤（ベンジン、シンナーなど）、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 薬品や殺虫剤などをかけないでください。
- ディスプレイは静かに閉じてください。
- 使用できる環境は次のとおりです。＊[1]
  温度５～35℃、湿度20～80％

  ＊1　使用環境条件は、本製品の動作を保証する温湿度条件であり、性能を保証するものではありません。
- 次のような場所で使用や保管をしないでください。
  直射日光の当たる場所／非常に高温または低温になる場所／急激な温度変化のある場所（結露を防ぐため）／強い磁気を帯びた場所（スピーカなどの近く）／ホコリの多い場所／振動の激しい場所／薬品の充満している場所／薬品に触れる場所
- 使用中に本体の底面や AC アダプタが熱くなることがあります。本体の動作状況により発熱しているだけで、故障ではありません。
- 電源コードのプラグを長期間にわたって AC コンセントに接続したままにしていると、プラグにホコリがたまることがあります。定期的にホコリをふき取ってください。

2 キーボード

柔らかい乾いた素材のきれいな布でふいてください。
汚れがひどいときは、水に浸した布を固くしぼってふきます。
キーのすきまにゴミが入ったときは、エアーで吹き飛ばすタイプのクリーナで取り除きます。ゴミが取れないときは、使用している機種名を確認してから、購入店、または保守サービスに相談してください。
飲み物など液体をこぼしたときは、ただちに電源を切り、AC アダプタとバッテリパックを取りはずして、購入店、または保守サービスに相談してください。

3 タッチパッド

乾いた柔らかい素材のきれいな布でふいてください。
汚れがひどいときは、水かぬるま湯に浸した布を固くしぼってからふきます。

4 液晶ディスプレイ

画面の手入れ

- 画面の表面には偏光フィルムが貼られています。このフィルムは傷つきやすいので、むやみに触れないでください。
  表面が汚れた場合は、柔らかくきれいな布で軽くふき取ってください。水や中性洗剤、揮発性の有機溶剤、化学ぞうきんなどは使用しないでください。
- 無理な力の加わる扱いかた、使いかたをしないでください。
  液晶ディスプレイは、ガラス板間に液晶を配向処理して注入してあります。強い力を加えると配向が乱れ、発色や明るさが変わって元に戻らなくなる場合があります。また、ガラス板を破損するおそれもあります。
- 水滴などが長時間付着すると、変色やシミの原因になるので、すぐにふき取ってください。ふき取る際は、力を入れないで軽く行ってください。

残像防止について

長時間同じ画面を表示したままにしていると、画面表示を変えたときに前の画面表示が残ることがあります。この現象を残像といいます。残像は、画面表示を変えることで徐々に解消されますが、あまり長時間同じ画面を表示すると画像が消えなくなりますので、同じ画面を長時間表示するような使いかたは避けてください。
また、次の機能を利用すると、残像防止ができます。

- スクリーンセーバーを設定する

参照 スクリーンセーバーの設定 『ヘルプとサポート センター』

- 「東芝省電力」で「モニタの電源を切る」を設定する

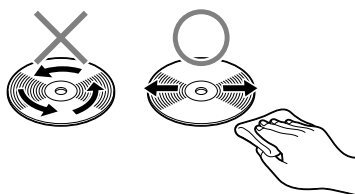
参照 東芝省電力 《オンラインマニュアル 6 章 2- ① 東芝省電力》

表示について

TFT カラー液晶ディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られております。非点灯、常時点灯などの画素（ドット）が存在することがあります（有効ドット数の割合は 99.99%以上です）。有効ドット数の割合とは、「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」です。また、見る角度や温度変化によって色むらや明るさのむらが見える場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

5 CD／DVD

CD ／ DVD の内容は故障の原因にかかわらず保障いたしかねます。製品を長持ちさせ、データを保護するためにも、次のことを必ず守ってください。

- 傷、汚れをつけないよう、取り扱いには十分にご注意ください。
- CD ／ DVD を折り曲げたり、表面を傷つけたりしないでください。CD ／ DVD を読み込むことができなくなります。
- CD ／ DVD を直射日光が当たるところや、極端に暑かったり寒かったりする場所に置かないでください。また、CD ／ DVD の上に重いものを置かないでください。
- CD ／ DVD は専用のケースに入れ、清潔に保護してください。
- CD ／ DVD を持つときは、外側の端か、中央の穴のところを持つようにしてください。
  データ記憶面に指紋をつけてしまうと、正確にデータが読み取れなくなることがあります。
- CD ／ DVD のデータ記憶面／レーベル面ともにラベルを貼らないでください。
- CD ／ DVD のデータ記憶面に文字などを書かないでください。
- CD ／ DVD のレーベル面に文字などを書くときは、油性のフェルトペンなどを使用してください。ボールペンなどの硬いものを使用しないでください。
- CD ／ DVD が汚れたりホコリをかぶったりしたときは、乾燥した清潔な布でふき取ってください。ふき取りは円盤に沿って環状にふくのではなく、円盤の中心から外側に向かって直線状にふくようにしてください。乾燥した布ではふき取れない場合は、水か中性洗剤で湿らせた布を使用してください。ベンジンやシンナーなどの薬品は使用しないでください。

6 データのバックアップについて

重要な内容は必ず、定期的にバックアップをとって保存してください。
バックアップとはハードディスクやソフトウェアの故障などでファイルが使用できなくなったときのために、あらかじめファイルをフロッピーディスクやCD-R、CD-RW などにコピーしておくことです。
本製品は次のような場合、スタンバイまたは休止状態が無効になり、本体内の記憶内容が変化し、消失するおそれがあります。

- 誤った使いかたをしたとき
- 静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
- 長期間使っていなかったために、バッテリ（バッテリパック、時計用バッテリ）の充電量がなくなったとき
- 故障、修理、バッテリ交換のとき
- バッテリ駆動で使用しているときにバッテリパックを取りはずしたとき
- 増設メモリの取り付け／取りはずしをしたとき

記憶内容の変化／消失については、ハードディスクやフロッピーディスクなどに保存した内容の損害については当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご承知ください。

7 デフラグ（ディスクの最適化）について

デフラグとは、ハードディスクにあるファイルを先頭から再配置して、ファイルの分割状態を解消し、連続した空き容量を増やす作業のことです。
このパソコンでは「ディスク デフラグ ツール」を使用して、ハードディスクにある断片化されたファイルやフォルダ、ハードディスクの空き容量を整理統合して、より効率的にファイルやフォルダにアクセスしたり、新しく作成するファイルやフォルダを断片化されないように保存することができます。

「ディスク デフラグ ツール」の起動方法

1 ［スタート］→［すべてのプログラム］→［アクセサリ］→［システム ツール］→［ディスク デフラグ］をクリックする

「ディスク デフラグ ツール」の使いかたについては、「ディスク デフラグ ツール」のヘルプを確認してください。

ヘルプの起動方法

1 ［ディスク デフラグ ツール］画面で、メニューバーの［操作］をクリックし、表示されたメニューから［ヘルプ］をクリックする

3 アフターケアについて

保守サービスについて

保守サービスへの相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。
保守・修理後はパソコン内のデータはすべて消去されます。
保守・修理に出す前に、作成したデータの他に次のデータのバックアップをとってください。

- メール
- メールのアドレス帳
- リカバリ（再セットアップ）ツール
- インターネットのお気に入り
- 自分で作成したデータ　など

有寿命部品について

本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境（温湿度など）等の条件により異なりますが、本製品を通常使用した場合、1 日に約 8 時間、1ヵ月で 25 日のご使用で約 5 年です。上記目安はあくまで目安であって、故障しないことや無料修理をお約束するものではありません。
なお、24 時間を超えるような長時間連続使用等、ご使用状態によっては早期にあるいは製品の保証期間内でも部品交換(有料)が必要となります。

【 対象品名 】
本体液晶ディスプレイ ＊1、ハードディスクユニット、CD/DVD ドライブ ＊2、フロッピーディスクドライブ ＊2、キーボード、タッチパッド、マウス ＊3、冷却用ファン、ディスプレイ開閉部（ヒンジ）＊4、AC アダプタ

＊１　工場出荷時から画面の明るさが半減するまでの期間。
＊２　それぞれ内蔵されているモデルが対象です。
＊３　同梱されているモデルが対象です。
＊４　液晶ディスプレイを開いたときに固定するための内部部品です。

社団法人 電子情報技術産業協会「パソコンの有寿命部品の表記に関するガイドライン」について
http://it.jeita.or.jp/perinfo/committee/pc/0503parts/index.html

消耗品について

【 バッテリパック 】
バッテリパック（充電式リチウムイオン電池）は消耗品です。
長時間の使用により消耗し、充電機能が低下します。
充電機能が低下した場合は、別売りのバッテリパックと交換してください。
別売りのバッテリパックと交換する前に、必ず指定の製品（型番）を確認してください。

参照 バッテリパックについて 「3 章 1 バッテリについて」

付属品について

付属品（バッテリパック・AC アダプタなど）については、「東芝パソコンシステム・オンラインショップ」でご購入いただけます。

【 東芝パソコンシステム・オンラインショップ 】

TEL ：043-277-5025
URL：http://shop.toshiba-tops.co.jp

保守部品（補修用性能部品）の最低保有期間

保守部品（補修用性能部品）とは、本製品の機能を維持するために必要な部品です。
本製品の保守部品の最低保有期間は、製品発表月から 6 年6ヵ月です。

4 捨てるとき／人に譲るとき

① バッテリパックについて

貴重な資源を守るために、不要になったバッテリパックは廃棄しないで、充電式電池リサイクル協力店へ持ち込んでください。
その場合、ショート防止のため電極にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってください。

【 バッテリパック（充電式電池）の回収、リサイクルについてのお問い合わせ先 】
有限責任中間法人 JBRC
TEL ：03-6403-5673
URL：http://www.jbrc.com

② パソコン本体について

本製品を廃棄するときは、家庭と企業では廃棄方法が異なります。以下の要領にて処理してください。
（本製品は、LCD 表示部に使用している蛍光管に水銀が含まれています。また、鉛を含む部品が使われています。）

【 PC リサイクルマークについて 】

リサイクル

PC リサイクルマーク
製品本体の型番を表示しているシール（本体裏面）に印刷表示します。

1 家庭でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、東芝の家庭系使用済みパソコン回収受付窓口へお申し込みください。
東芝は、PC リサイクルマークが表示されている東芝製パソコンは無料で回収と適切な再資源化処理を実施します。

【 パソコン回収受付窓口 】
東芝 dynabook リサイクルセンタ

【 回収方法 】

- 東芝ホームページよりお申し込みの場合
  URL：http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm（24 時間受付）
- 電話にてお申し込みの場合
  東芝 dynabook リサイクルセンタ
  TEL ：043-303-0200
  受付時間 ：10：00 ～ 17：00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く
  FAX ：043-303-0202（24 時間受付）

【 回収・再資源化対象機器 】
ノートパソコン、デスクトップパソコン（本体）、液晶ディスプレイ／液晶一体型パソコン、ブラウン管（CRT）ディスプレイ／ブラウン管（CRT）一体型パソコン

＊ 出荷時に同梱されていた標準添付品（マウス、キーボード、スピーカ、ケーブルなど）が同時に排出された場合は、パソコンの付属品として併せて回収します。
ただし、周辺機器（プリンタ他）、マニュアル、CD-ROM などの媒体は回収の対象外です。

2 企業でパソコンを使用しているお客様へ

本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱われます。
東芝は、廃棄品の回収と適切な再使用・再利用処理を実施しております。
PC リサイクルマーク表示のある東芝製パソコンを産業廃棄物として回収・処理を行う場合の費用については、東芝パソコンリサイクルセンターにお問い合わせください。

【 お問い合わせ先 】
東芝パソコンリサイクルセンター
TEL　　：045-510-0255
受付時間：9：00 ～ 17：00（土・日・祝日、当社指定の休日を除く）
FAX　　：045-506-7983（24 時間受付）

【 東芝ホームページでご紹介 】
URL：http://dynabook.com/pc/eco/recycle.htm

3 パソコンの廃棄・譲渡時のハードディスク上のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンは、オフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これらのパソコンに使われているハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。
したがって、パソコンを譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということが必要となります。
ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するのは、それほど簡単ではありません。
「データを消去する」という場合、一般に

◆データを「ごみ箱」に捨てる
◆「削除」操作を行う
◆「ごみ箱を空にする」コマンドを使って消す
◆ソフトウェアで初期化（フォーマット）する
◆再セットアップ（リカバリ）を行い、購入時の状態に戻す

などの作業をしますが、これらの作業では、ハードディスク上に記録されたデータのファイル管理情報が変更されるだけで、実際はデータが見えなくなっているだけの状態です。
つまり、一見消去されたように見えますが、Windows などの OS のもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、実際のデータは、まだ残っているのです。
したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合があります。このため、悪意のある人により、ハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予期しない用途に利用されるおそれがあります。
お客様が、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク内の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、お客様の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、標準添付しているハードディスクデータ削除機能や市販されている専用ソフトウェア、有償サービスの利用や、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくすることをお勧めします。
なお、ハードディスク上のソフトウェア（OS、アプリケーションソフトなど）を削除することなくパソコンを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認をする必要があります。

本製品では、パソコン上のデータをすべて消去することができます。

参照 「本項 5 ハードディスクの内容をすべて消去する」

この機能は Windows などの OS によるデータ消去や初期化とは違い、ハードディスクの全領域にデータを上書きするため、データが復元されにくくなります。
ただし、本機能を使用してデータを消去した場合でも、特殊な装置の使用によりデータを復元される可能性はゼロではありません。あらかじめご了承ください。

データ消去については、次のホームページも参照してください。

URL：http://dynabook.com/pc/eco/haiki.htm

4 お客様登録の削除について

●ホームページから削除する

東芝 ID（TID）をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「http://room1048.jp/」へ接続する
② ［ログイン］ボタンをクリックする
③ ページ左側の［東芝 ID（TID)］と［パスワード］に入力し、［ログイン］ボタンをクリックする
　お客様専用ページにログインします。
④ ページ右上の［登録情報変更］をクリックする
　［登録情報変更メニュー］画面が表示されます。
⑤ ［退会］をクリックし、登録を削除する

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は「登録情報変更」メニューで、商品削除を行ってください。
※ TID を退会されますと、「Shop1048」での TID 会員メニュー、およびポイントサービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

●電話で削除する

「東芝 ID 事務局（お客様情報変更)」までご連絡ください。

- 東芝 ID 事務局（お客様情報変更）
  TEL　　：0570-09-1048
  受付時間：10：00 ～ 17：00（土・日、祝日、東芝特別休日を除く）

紹介しているホームページ、電話番号はお客様登録の内容変更、削除に関する問い合わせ窓口です。
保守サービス、修理などの技術的な相談は、『東芝 PC サポートのご案内』を確認してください。

法人のお客様の場合は、ログインで表示される画面が異なります。登録情報の変更および退会は「登録情報変更」のメニューで、ご自身で行っていただくことができますが、商品の削除ができませんので、その場合は東芝 ID 事務局までお電話でご連絡くださいますようお願いいたします。

- 詳しくは、次のホームページを参照してください。
  URL：https://room1048.jp/onetoone/info/business.htm

5 ハードディスクの内容をすべて消去する

パソコン上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、パソコンを廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

（ハードディスクのリカバリツールを使用する場合）

なお、ハードディスクに保存されている、これまでに作成したデータやプログラムなどはすべて消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

ハードディスクの内容を削除するには、ハードディスクのリカバリツールまたは作成したリカバリディスクを使用します。
ハードディスクのリカバリツールを使用すると、ハードディスク内のデータはすべて消去されますが、リカバリツールは残ります。
作成したリカバリディスクを使用すると、ハードディスク内のデータと共にリカバリツールも消去されます。

ここでは、ハードディスクのリカバリツールから行う方法を例にして説明します。リカバリディスクから行う場合は、手順1の前にリカバリディスク（ディスク1）をセットしてください。

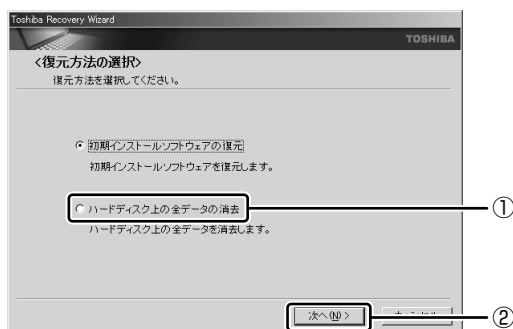
1 パソコンの電源を切る

2 ACアダプタと電源コードを接続する

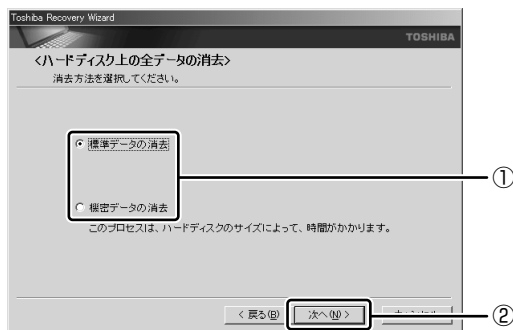
3 キーボードの(O)（ゼロ）キーを押しながら電源スイッチを押し、「TOSHIBA」画面が表示されてから手をはなす

リカバリディスクをセットしている場合は、電源スイッチを押し、電源を入れた直後にキーボードの(F12)キーを押します。
その後、(→)または(←)キーでCDのアイコンにカーソルを合わせ、(Enter)キーを押してください。

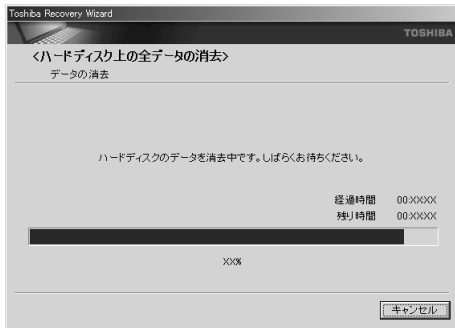
ユーザパスワードを設定している場合は、「Password＝　」と表示されます。ユーザパスワードを入力して、(Enter)キーを押してください。
［復元方法の選択］画面が表示されます。

4 ［ハードディスク上の全データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

消去方法を選択する画面が表示されます。

5 目的に合わせて、［標準データの消去］または［機密データの消去］をチェックし①、［次へ］ボタンをクリックする②

通常は［標準データの消去］を選択してください。データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、［機密データの消去］を選択してください。数時間かかりますが、データは消去されます。

［ハードディスクの内容は、すべて消去されます。］画面が表示されます。

6 ［次へ］ボタンをクリックする

処理を中止する場合は、［キャンセル］ボタンをクリックしてください。
消去が実行されます。
消去中は、次の画面が表示されます。

消去が完了すると、終了画面が表示されます。

7 ［終了］ボタンをクリックする

リカバリディスクから行った場合は、自動的にディスクトレイが開きます。リカバリディスクを取り出してください。

付録

本製品のハードウェア仕様や、技術基準適合などについて記しています。

技術基準適合について

《オンラインマニュアル》にも技術基準適合に関する説明が記載されています。《オンラインマニュアル》の記載もあわせてご確認ください。

瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人　電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

参照 《オンラインマニュアル 9章 3 Q&A集 その他-Q パソコンの近くにあるテレビやラジオの調子がおかしい》

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

参照 省電力設定について 《オンラインマニュアル 6章 2 省電力の設定をする》

TOSHIBA

EU Declaration of Conformity

TOSHIBA declares, that the product: PSAW4******** conforms to the following Standards:

Supplementary Information : "The product complies with the requirements of the Low Voltage Directive 73/23/EEC, the EMC Directive 89/336/EEC and the R&TTE Directive 1999/5/EEC."

This product is carrying the CE-Mark in accordance with the related European Directives. Responsible for CE-Marking is TOSHIBA Europe, Hammfelddamm 8, 41460 Neuss, Germany.

●対応地域
内蔵モデムは、次の地域で使用できます。

アイスランド、アイルランド、アメリカ合衆国、アラブ首長国連邦、アルゼンチン、イギリス、イスラエル、イタリア、インド、インドネシア、エジプト、エストニア、オーストラリア、オーストリア、オマーン、オランダ、カナダ、韓国、ギリシャ、クウェート、サウジアラビア、シンガポール、スイス、スウェーデン、スペイン、スリランカ、スロバキア、スロベニア、タイ、台湾、チェコ、中国、デンマーク、ドイツ、トルコ、日本、ニュージーランド、ノルウェー、パキスタン、ハンガリー、バングラデシュ、フィリピン、フィンランド、ブラジル、フランス、ブルガリア、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、香港、マルタ、マレーシア、南アフリカ、メキシコ、モロッコ、ラトビア、リトアニア、ルーマニア、ルクセンブルグ、レバノン、ロシア

（2005 年 12 月現在）

なお、その他の地域での許認可は受けていないため、その他の地域では使用できません。注意してください。
内蔵モデムが使用できない地域では、その地域で許認可を受けているモデムを購入してください。
内蔵モデムに接続する回線が PBX 等を経由する場合は使用できない場合があります。
上記の注意事項を超えてのご使用における危害や損害などについては、当社では責任を負えませんのであらかじめ了承してください。

参照　設定について 《オンラインマニュアル 4 章 1-②-3 海外でインターネットに接続するときには》

●自動再発信の制限
内蔵モデムは 2 回を超える再発信（リダイヤル）は、発信を行わず『BLACK LISTED』を返します（『BLACK LISTED』の応答コードが問題になる場合は、再発信を 2 回以下または再発信間隔を 1 分以上にしてください）。

＊内蔵モデムの自動再発信機能は、電気通信事業法の技術基準（アナログ電話端末）「自動再発信機能は 2 回以内（但し、最初の発信から 3 分以内）」に従っています。

付録

TEAC DVD スーパーマルチドライブ DV-W28EB
（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNDGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLEN ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTINA LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

Panasonic DVD スーパーマルチドライブ UJ-850B
（DVD スーパーマルチドライブ　DVD+R 2 層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

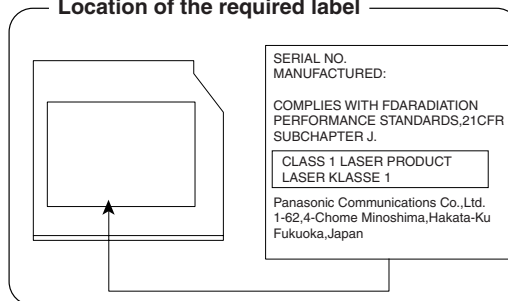
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ATTENTION	CLASSE 3B RAYONNEMENT LASER VISIBLE ET INVISIBLE EN CAS D'OUVERTURE. EXPOSITION DANGEREUSE AU FAISCEAU.
VORSICHT	KLASSE 3B SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

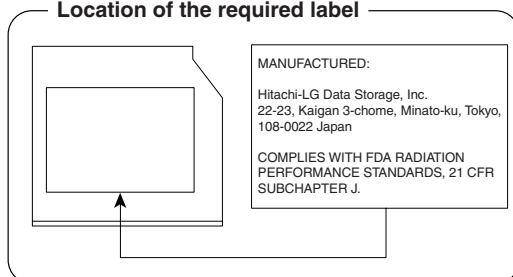
付録

HITACHI LG DVDスーパーマルチドライブ GMA-4082N
（DVDスーパーマルチドライブ DVD±R 2層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。
   本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で"クラス1レーザー機器"に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN. AVOID EXPOSURE TO BEAM.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDS/ETTELSE FOR STRÅLING.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING NÅR DEKSEL ÅPNES. UNNGÅ EKSPONERING FOR STRÅLEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. STRÅLE ÄR FARLIG.
VARO !	KURSSI 3B NÄKYVÄ JA NÄKYMÄTÖN AVATTAESSA OLET ALTTIINA LASERSÄTEILYLLE, ÄLÄ KATSO SÄTEESEN.

Pioneer DVD スーパーマルチドライブ DVR-K16T（DVD スーパーマルチドライブ DVD ± R 2 層式メディア対応）安全にお使いいただくために

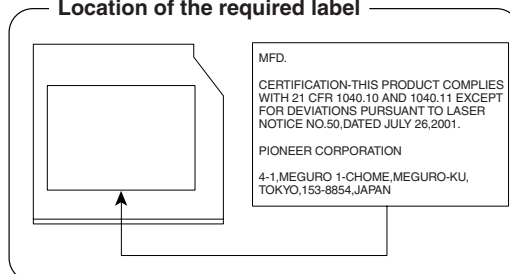
本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

CLASS 1 LASER PRODUCT
LASER KLASSE 1
クラス 1 レーザー製品

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格 EN60825 で“クラス 1 レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。
2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN, AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
ATTENTION	RADIATIONS LASER VISIBLES ET INVISIBLES DE CLASSE 3B QUAND OUVERT. ÉVITEZ TOUT EXPOSITION AU FAISCEAU.
ADVARSEL	KLASSE 3B SYNLIG OG USYNLIG LASERSTRÅLING VED ÅBNING. UNDGÅ UDSÆTTELSE FOR STRÅLING.
VARO !	AVATTAESSA OLET ALTTIINA NÄKYVÄLLE JA NÄKYMÄTTÖMÄLLE LUOKAN 3B LASERSÄTEILYLLE. ÄLÄ KATSO SÄTEESEEN.
VARNING	KLASS 3B SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPNAD. UNDVIK AT T UTSÄTTA DIG FÖR STRÅLEN.
VORSICHT	BEI GEÖFFNETER ABDECKUNG IST SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B IM GERÄTEINNEREN VORHANDEN. NICHT DEM LASERSTRAHL AUSSETZEN!
PRECAUCIÓN	CUANDO SE ABRE HAY RADIACIÓN LÁSER DE CLASE 3B VISIBLE E INVISIBLE. EVITE LA EXPOSICIÓN A LOS RAYOS LÁSER.
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。

付録

NEC DVDスーパーマルチドライブ ND-7550A
（DVDスーパーマルチドライブ DVD±R 2層式メディア対応）
安全にお使いいただくために

本装置を正しくご使用いただくために、この説明書をよくお読みください。
また、お読みになった後は、必ず保管してください。

⚠注 意

1. 本装置はレーザーシステムを使用しています。
   本装置の定格銘板には、右記の表示がされています。本装置はヨーロッパ共通のレーザ規格EN60825で“クラス1レーザー機器”に分類されています。
   レーザー光を直接被爆することを防ぐために、この装置の筐体を開けないでください。

   CLASS 1 LASER PRODUCT
   LASER KLASSE 1
   LUOKAN 1 LASERLAITE
   KLASS 1 LASERAPPARAT
   クラス1レーザー製品

2. 分解および改造をしないでください。感電の原因になります。信頼性、安全性、性能の保証をすることができなくなります。
3. 本装置はある確率で読み取り誤りをおこすことがあります。従って、本装置を使用するシステムには、これらの誤りや故障に起因する二次的な損失、障害および事故を防止するために、安全性や保全性に関する十分な配慮が必要です。本装置の故障、取り出されたデータの誤りによって、人体への危害や物質的損害を誘発する可能性があるシステムには、本装置を使用しないでください。
4. ご使用のディスクが損傷を受けても保証はいたしません。
5. ご使用中に異常が生じた場合は、電源を切って、お買い上げの販売店にご相談ください。

CAUTION	CLASS 3B VISIBLE AND INVISIBLE LASER RADIATION WHEN OPEN, AVOID EXPOSURE TO THE BEAM.
VORSICHT	SICHTBARE UND UNSICHTBARE LASERSTRAHLUNG DER KLASSE 3B, WENN ABDECKUNG GEÖFFNET. NICHT DEM STRAHL AUSSETZEN.
VARNING	SYNLIG OCH OSYNLIG LASERSTRÅLNING AV KLASS 3B FÖREKOMMER NÄR DENNA DEL ÄR ÖPPEN. UNDVIK STRÅLEN.
VARO !	LUOKAN 3 NÄKYVÄÄ JA NÄKYMÄTÖNTÄ LASERSÄTEILYÄ AVATTUNA. VÄLTÄ ALTISTUMISTA SÄTEELLE.
注意	ここを開くと CLASS 3B の可視レーザ光及び不可視レーザ光が出ます。ビームを直接見たり、触れたりしないこと。

さくいん

フ

ヘ

ホ

マ

ミ

メ

モ

リ

ワ